

平成三十年

津保健所年報

(平成二十九年度版)



津市御殿場海岸 ミヤコドリ

三重県津保健所

凡 例

- 1 年報の内容は、大きく「管内概況」、「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画における事業実績概要」及び「検査業務概要」に分かれています。
- 2 「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画における事業概要」では、保健所各課別事業実績を「行動計画」における「施策－基本事業－内容」の順に合わせて並べ、また、各々の施策・基本事業番号を付しています。
- 3 四日市市地域の検査業務は、平成20年度から四日市市保健所に移行されました。
- 4 20ページの 12104 医療安全体制の確保の「2 立入検査実施状況」については、津管内及び伊賀管内、尾鷲管内、熊野管内を広域に行っているものであり、実績対象地域は、4管内を合わせたものとなっています。
- 5 数値は、四捨五入のため、内訳の合計が総数に合わない場合があります。
- 6 本文の表の表記について、「－」は、項目を実施していないもの、該当が無いもの及び最終集計が不明なものです。
- 7 「障がい者」の表記については、表記に関する県取扱方針が示されたため、「害」を「がい」に改めたものです（障害という言葉が単語あるいは熟語として用いられ、前後の文脈から人または人の状況を表す場合はひらがな表記とします）。
なお、同取扱方針により法令及び国の制度等に基づく表記は従前どおりとし、固有名称については今後整理するものとし、疾患等の状態を表すものについては漢字表記で差し支えないと考えられるとされています。
また、同取扱方針により、これまでに作成した文書等の変更は行いません。本文中に「障がい」と「障害」の表記が混在しているのはこのためです。

目 次

第1編 管内概況

1 管内概要	4
管内略図	4
2 津保健所	
(1) 津保健所所在地及び連絡先	5
(2) 津保健所位置図	5
3 津保健所組織概要	
(1) 組織体制	6
(2) 課と主な業務内容	6
4 管内の指標	
(1) 津市の面積・世帯数・総人口	8
(2) 年齢3区分別人口	8
(3) 人口動態総覧	9
(4) 主要死因別死亡数	10
(5) 性別・悪性新生物部位別死亡者数	11
5 相談業務	
(1) エイズ・B型・C型肝炎・梅毒の相談業務	12
(2) こころの病気や悩みに関する相談業務	12

第2編 三重県民力ビジョン・第二次行動計画における事業概要

I 政策展開の基本方向「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

政策 1 防災・減災

施策 112 防災・減災対策を進める体制づくり

基本事業 11204 災害医療体制の整備	13
----------------------	----

政策 2 命を守る

施策 121 地域医療提供体制の確保

基本事業 12102 医療分野の人材確保	15
----------------------	----

基本事業 12103 救急医療等の確保	17
---------------------	----

基本事業 12104 医療安全体制の確保	19
----------------------	----

施策 122 介護の基盤整備と人材の育成・確保

基本事業 12201 介護保険事業の円滑な運営とサービスの質の向上	21
-----------------------------------	----

基本事業 12203 介護基盤の整備促進	23
----------------------	----

施策 124 こころと身体 の健康対策の推進

基本事業 12401 健康づくり・生活習慣病予防活動の推進	24
-------------------------------	----

基本事業 12403 こころの健康づくりの推進	29
-------------------------	----

基本事業 12404 難病対策の推進	31
--------------------	----

政策 3 共生の福祉社会

施策 131 障がい者の自立と共生

基本事業 13101 障がい者の地域移行の推進と福祉サービスの充実	34
-----------------------------------	----

基本事業 13105 精神障がい者の保健医療の確保	35
---------------------------	----

施策 132 支え合いの福祉社会づくり

基本事業 13203 ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	40
--------------------------------	----

政策 4 暮らしの安全を守る

施策 144 薬物乱用防止と動物愛護の推進等

基本事業 14401	薬物乱用防止対策の推進	4 1
基本事業 14402	人と動物との共生環境づくり	4 2
基本事業 14403	医薬品等の安全な製造・供給の確保	4 4
基本事業 14404	生活衛生営業の衛生確保	4 7

施策 145 食の安全・安心の確保

基本事業 14501	食の安全・安心の確保	4 8
------------	------------	-----

施策 146 感染症の予防と拡大防止対策の推進

基本事業 14601	感染予防のための普及啓発の推進	5 5
基本事業 14602	感染症危機管理体制の整備	5 8
基本事業 14603	感染症対策のための相談・検査の推進	5 9

II 政策展開の基本方向「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～

政策 3 希望がかなう少子化対策の推進

施策 232 結婚・妊娠・出産の支援

基本事業 23202	不妊に悩む家族への支援	6 4
基本事業 23203	切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実	6 4

III 政策展開の基本方向「拓ひらく」

～強みを生かした経済の躍動を実感できるために～

該当なし

第3編 検査事業実績

施策 145	食の安全・安心の確保	6 7
施策 146	感染症の予防と体制の整備	6 7
1	感染症発生時及び防疫検査	6 7
2	食品衛生検査	6 9
3	食中毒及び有症苦情発生時の微生物検査・毒劇物迅速検査	7 0
4	特定感染症検査	7 2

第1編 管内概況

1 管内概要

津保健所が所管する津市は、明治22（1889）年4月1日に全国31市とともに日本で最初に市制施行しました。その後いくつかの町村の編入を経て、現在の津市は、平成18年1月1日に津市、久居市、河芸町、芸濃町、美里村、安濃町、香良洲町、一志町、白山町、美杉村の10市町村が合併して新「津市」としてスタートしました。

津市は、三重県の中央部に位置し、面積が約711k㎡と県内市町では最大で、*全国71番目の面積、人口は約28万人と四日市市に次ぎ県内2番目で、*全国77番目の人口です。
（*2018年4月1日現在の自治体構成 全国791市）

歴史的には約2200年程前の弥生時代に、豊作を祈る祭に使用したと思われる全国的にも珍しい「弥生の琴」が納所遺跡から出土されるなど、古くから農耕文化が発達し、集落が安濃川流域全体に広がっていたと思われます。

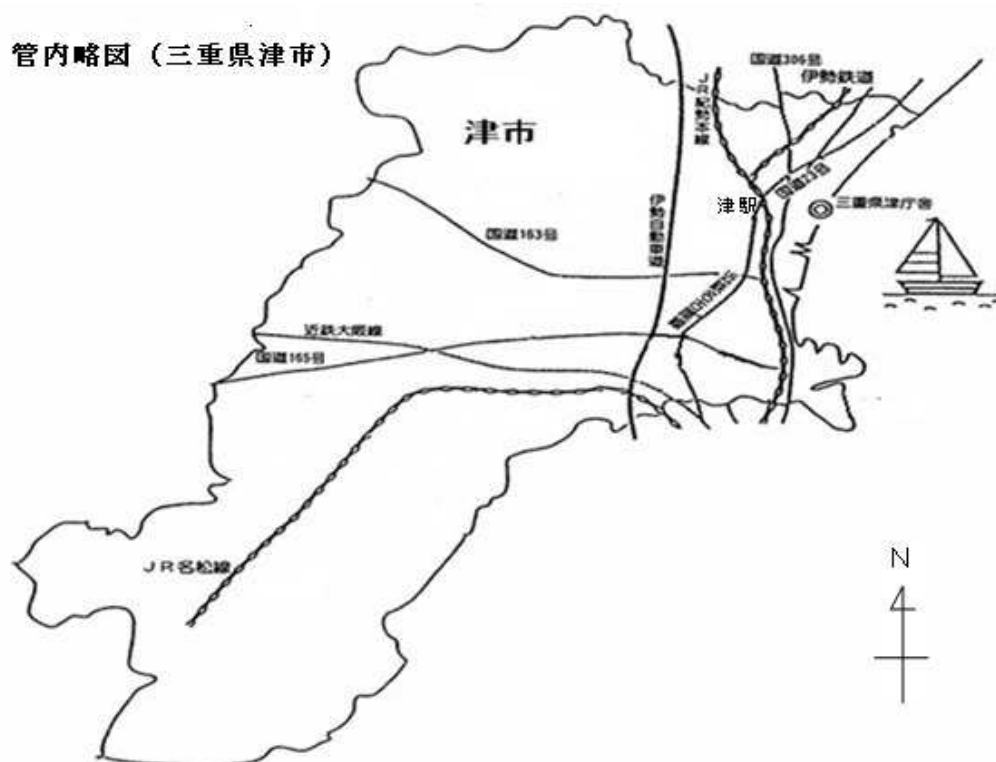
室町時代から戦国時代は、美杉地域を拠点とした北畠氏が大変栄え、武力を持つと共に高い官位を持つ公家でもあり、武家風、公家風双方が融合した文化を花開かせました。

一方、中国・明の時代の歴史書に大陸との貿易船の港として、伊勢の安濃津(洞の津)、薩摩の坊津(坊の津)、筑前の博多津(花旭塔(屠)の津)が日本三津として栄えた名港であったと伝えられています。

明応7(1498)年8月25日の地震津波で港の機能を失った安濃津は、その機能を復活させることはありませんでしたが、戦国時代を経て江戸時代に藤堂藩32万石の城下町、伊勢街道の宿場町として発展を遂げました。

荷物にならない伊勢土産として全国に広まった民謡の伊勢音頭で「伊勢は津で持つ、津は伊勢で持つ、尾張名古屋は城で持つ」と歌われています。

その他、380年以上前の寛永年間に始まった「八幡神社祭礼」が起源の津まつりでは、「唐人踊り」「しゃご馬」等の伝統行事が披露されています。



2 津保健所

(1) 津保健所所在地及び連絡先

〒 : 514-8567

所在地 : 津市桜橋 3 丁目 446-34 (三重県津庁舎 5 階)

TEL : 059-223-5290 (代表)

FAX : 059-223-5119

E-mail : thoken@pref.mie.jp

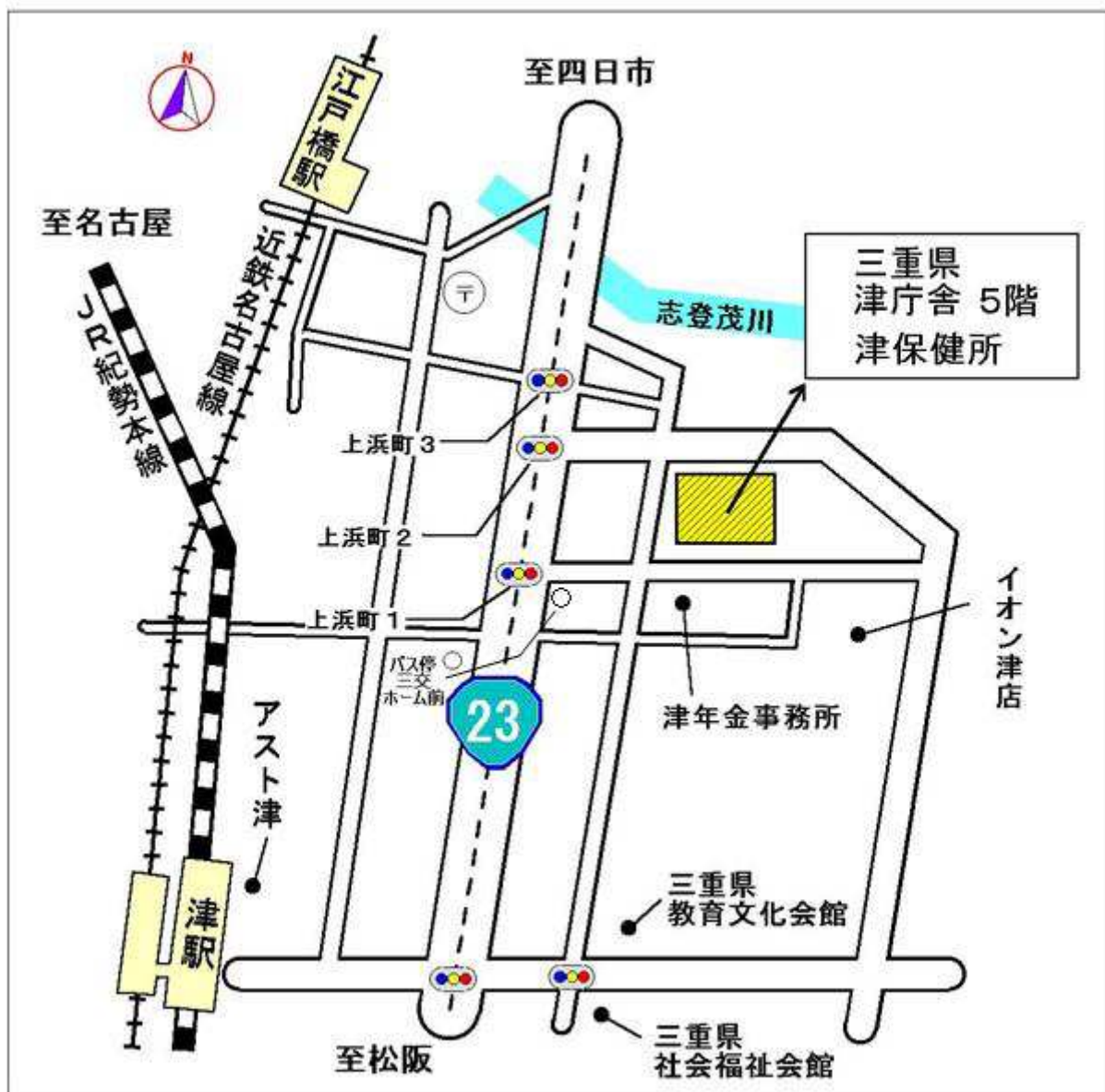
URL : <http://www.pref.mie.lg.jp/THOKEN/HP/index.htm>

(2) 津保健所位置図

J R・近鉄「津駅」下車東口から徒歩 13 分

又は近鉄「江戸橋駅」下車徒歩 10 分

三交ホーム前バス停から徒歩 5 分



3 津保健所組織概要

(1) 組織体制

(平成30年4月1日現在)

所長	総務企画室	保 健 衛 生 室			総合検査室	計
	副 所 長 (兼室長) 1人	室 長 1人			室長 1人	
	総務企画課	健康増進課	地域保健課	衛生指導課	微生物検査課	
1人	8人	7人	8人	8人	10人	45人

(2) 課と主な業務内容

総務企画課	<ul style="list-style-type: none"> ◆経理、庶務、管理に関すること ◆医師等医療従事者の免許及び従事者届に関すること ◆医師、保健師、栄養士等の研修及び実習生指導に関すること ◆人口動態統計、国民生活基礎調査等の保健及び福祉の統計に関すること ◆介護保険法の施行に関すること ◆障害者総合支援法の施行に関すること ◆津、久居地域救急医療対策協議会に関すること ◆地域保健医療計画に関すること ◆津市健康増進計画策定支援に関すること ◆医務に関すること ◆病院、診療所及び助産所の立ち入り検査に関すること ◆救急医療に関すること ◆災害医療に関すること ◆三重おもいやり駐車場利用証制度に関すること ◆原子爆弾被爆者対策に関すること ◆特定不妊治療費助成に関すること ◆母体保護法に関すること
健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> ◆結核医療に関すること ◆健康づくりに関すること ◆津地域、職域連携推進事業に関すること ◆栄養改善、食育に関すること ◆特定給食施設等指導に関すること ◆エイズに関すること ◆こころの健康づくりに関すること ◆感染症対策に関すること ◆自殺対策に関すること

地域保健課	<ul style="list-style-type: none"> ◆精神保健福祉に関する事 ◆認知症に関する事 ◆難病に関する事 ◆肝炎治療に関する事 ◆母子保健に関する事 ◆小児慢性特定疾患に関する事 ◆長期療養児の相談、訪問指導に関する事
衛生指導課	<ul style="list-style-type: none"> ◆食品衛生法にかかる許可、監視、食品収去及び講習等に関する事 ◆医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、麻薬及び向精神薬取締法、覚醒剤取締法、大麻取締法、あへん法、毒物及び劇物取締法に関する許可、監視等に関する事 ◆献血、骨髄バンクの推進、薬物乱用防止に関する事 ◆動物の愛護及び管理に関する法律、狂犬病予防法等動物関係の許可、動物愛護に関する事 ◆理容師法、美容師法、クリーニング業法、興行場法、旅館業法、墓地等に関する事 ◆調理師法、製菓衛生師法等に関する事 ◆食品表示法に関する事 ◆三重県食品の自主衛生管理認定制度の導入促進に関する事
微生物検査課	<ul style="list-style-type: none"> ◆食品の微生物検査、食中毒検査、感染症検査、特定感染症（H I V、B型肝炎及びC型肝炎ウイルス、梅毒、結核検査）等各種検査に関する事 ◆精度管理に関する事 ◆簡易キットによる毒劇物検査に関する事

4 管内の指標

(1) 津市の面積・世帯数・総人口

平成30年3月31日現在

区分	面積 (k m ²)	世帯数	総人口	人口密度 (人/k m ²)	老年人口 (%)
津市	711.11	124,895	279,857	393.5	28.7

※津市統計情報ホームページの「住民基本台帳世帯数および人口」によります。

(2) 年齢3区分別総人口

平成28年10月1日現在

区分	総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	不詳
津市	278,674	35,279	163,075	78,779	1,541
(男)	135,213	18,091	82,064	34,109	949
(女)	143,461	17,188	81,011	44,670	592
三重県	1,807,611	229,866	1,048,696	509,331	19,718
(男)	880,050	117,513	528,863	222,281	11,393
(女)	927,561	112,353	519,833	287,050	8,325

※三重県健康福祉部健康福祉総務課「平成28年衛生統計年報」によります。

(3) 日本人人口動態総覧 (数・率)

平成28年確定数

区分	人口	出生数			死亡数			(再掲)			
		総数	男	女	総数	男	女	乳児死亡数			新生児死亡数
								総数	男	女	
全国	125,020,252	976,978	501,880	475,098	1,307,748	674,733	633,015	1,928	980	948	874
三重	1,807,611	13,202	6,806	6,396	19,830	10,131	9,699	22	15	7	12
津市	278,674	1,845	946	899	2,849	1,470	1,379	1	-	1	1
区分	自然増減数	死産数			周産期死亡数			婚姻件数	離婚件数		
		総数	自然	人工	総数	妊娠満22週以後の死産	早期新生児死				
全国	-330770	20,934	10,067	10,867	3,516	2840	676	620,531	216,798		
三重	-6628	272	143	129	75	67	8	8,174	2,923		
津市	-1004	39	25	14	12	11	1	1,224	419		
区分	出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率	自然死産率	人工死産率			
	(人口千対)	(出生千対)			(人口千対)	(出産千対)					
全国	7.8	10.5	2.0	0.9	△ 2.6	21	10.1	10.9			
三重	7.4	11.2	1.7	0.9	△ 3.7	20.2	10.6	9.6			
津市	6.6	10.2	0.5	0.5	△ 3.6	20.7	13.3	7.4			
区分	周産期死亡率	妊娠満22週以後の死産率	早期新生児死亡率	婚姻率	離婚率	合計特殊出生率					
	(出産千対)		(出生千対)	(人口千対)							
全国	3.6	2.9	0.7	5.0	1.7	1.4					
三重	5.7	5.0	0.6	4.6	1.7	1.5					
津市	6.5	5.9	0.5	4.4	1.5	1.3					

※三重県健康福祉部健康福祉総務課「平成28年衛生統計年報」によります。

(4) 主要死因別死亡数

平成28年確定数

区分	総数			感染症及び寄生虫症			内 結核			内 ウイルス肝炎			新生物			内 悪性新生物			血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
三重県	19,830	10,131	9,699	387	200	187	22	10	12	53	23	30	5,408	3,190	2,218	5,219	3,091	2,128	42	16	26
津市	2,849	1,470	1,379	64	34	30	2	-	2	7	4	3	741	427	314	713	416	297	9	3	6
区分	内分泌、栄養及び代謝疾患			内 糖尿病			精神及び行動の傷害			神経系の疾患			循環器系の疾患			内 心疾患 (高血圧性を除く)			内 脳血管疾患		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
三重県	325	159	166	204	105	99	288	89	199	448	190	258	5,110	2,422	2,688	2,926	1,399	1,527	1,652	786	866
津市	51	24	27	35	18	17	49	9	40	67	28	39	737	371	366	414	203	211	250	134	116
区分	呼吸器系の疾患			消化器系の疾患			内 肝疾患			皮膚及び皮下組織の疾患			筋骨格系及び結合組織の疾患			腎尿路生殖器系の疾患			内 腎不全		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
三重県	3,158	1,867	1,291	706	360	346	176	115	61	43	18	25	94	38	56	659	297	362	424	208	216
津市	473	292	181	113	60	53	27	20	7	9	5	4	7	4	3	80	35	45	58	28	30
区分	周産期に発生した病態			先天奇形、変形及び染色体異常			症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの			内 老衰			傷病及び死亡の外因			内 不慮の事故			内 自殺		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
三重県	4	3	1	26	11	15	2,080	827	1,453	1,838	487	1,351	1,051	644	407	670	403	267	265	188	77
津市	-	-	-	3	1	2	273	76	197	233	57	181	173	101	72	112	68	44	35	24	11

※三重県健康福祉部健康福祉総務課「平成28年衛生統計年報」によります。

(5) 性別・悪性新生物部位別死亡数 (主要死因別死亡数から再掲)

平成28年確定数

区分	悪性新生物			口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物			食道の悪性新生物			胃の悪性新生物			結腸の悪性新生物			直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物			肝及び肝内胆管の悪性新生物			胆のう及びその他の胆道の悪性新生物		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
三重県	5,219	3,091	2,128	102	63	39	135	112	23	659	450	209	508	250	258	199	123	76	385	254	131	244	115	129
津市	713	416	297	11	4	7	23	21	2	79	57	22	59	27	32	29	18	11	44	31	13	40	13	27
区分	膵の悪性新生物			喉頭の悪性新生物			気管、気管支及び肺の悪性新生物			皮膚の悪性新生物			乳房の悪性新生物			子宮の悪性新生物			卵巣の悪性新生物			前立腺の悪性新生物		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
三重県	419	220	199	12	12	-	1,133	826	307	22	10	12	186	2	184	94	・	94	73	・	73	142	142	・
津市	65	33	32	1	1	-	143	103	40	3	1	2	25	-	25	14	・	14	14	・	14	22	22	・
区分	膀胱の悪性新生物			中枢神経系の悪性新生物			悪性リンパ腫			白血病			その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物			その他の悪性新生物								
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女						
三重県	131	93	38	28	16	12	174	89	85	107	55	52	75	41	34	391	218	173						
津市	20	13	7	5	3	2	28	14	14	20	12	8	10	8	2	58	35	23						

※三重県健康福祉部健康福祉総務課「平成28年衛生統計年報」によります。

5 相談業務

(1) エイズ（H I V）・B型肝炎・C型肝炎・梅毒の相談と検査

電話相談

電話相談は、随時受け付けています。

検査

検査は、4種類のご希望の検査が無料・匿名で受けられ、予約は不要です。

検査項目	開催日時	検査結果
H I V検査 B型肝炎検査 C型肝炎検査 梅毒検査	毎週火曜日 14：00～ 15：30	1週間後以降の検査日、あるいは翌月の夜間H I V即日検査日に直接本人に口頭でお伝えします。
夜間H I V (即日検査) B型肝炎検査 C型肝炎検査 梅毒検査	毎月第3火曜日 17：30～ 19：00	<p>夜間H I V (即日検査) 採血後30分程度で本人に口頭でお伝えします。ただし、確認検査が必要となった場合は、1週間後となります。</p> <p>夜間H I V (即日検査以外の検査) 1週間後以降の検査日、あるいは翌月の夜間H I V即日検査日に直接本人に口頭でお伝えします。</p>

※(祝祭日・年末年始は開催していません)

(2) 精神保健福祉に関すること

精神保健福祉

こころの病気や悩みに関する相談を行っています。

ご本人、ご家族からの相談を受けています。

精神保健福祉相談 (面談)	日 時：月～金 8:30～16:30 相談員：保健師・精神保健福祉士 ※事前に電話等によりご予約ください。
精神保健福祉相談 (電話相談)	日 時：月～金 8:30～17:00 相談員：保健師・精神保健福祉士
連 絡 先	三重県津保健所 保健衛生室 地域保健課 電話 059-223-5057

第2編 三重県民力ビジョン・第二次行動計画における事業概要

I 政策展開の基本方向「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

政策 1 防災・減災

施策	:	112 防災・減災対策を進める体制づくり
基本事業	:	11204 災害医療体制の整備

主な取組内容

・災害時の医療体制の整備のため、管内災害拠点病院との連携を図ります。また、災害直後から災害用医薬品等の供給が速やかに行われるよう、災害拠点薬局等の協力を得て、医療救護活動に必要な医薬品等の調達、分配を行います。

1 災害医療体制

(1) 災害拠点病院（三重県地域防災計画の指定による）

災害拠点病院とは、大規模災害発生時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うための高度診療、被災地からの重症患者の受入れ及び広域搬送への対応、医療救護班の派遣、地域の医療機関への応急用資材の貸し出しを担う病院として、三重県知事が指定している病院です。

名称	郵便番号	所在地	電話番号	F A X 番号
国立大学法人三重大学医学部附属病院	514-8507	津市江戸橋 2 丁目 174	059-232-1111	059-232-7498
独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター	514-1101	津市久居明神町 2158 番地 5	059-259-1211	059-256-2561

(2) 災害拠点薬局（災害拠点薬局等指定要領による）

災害拠点薬局とは、大規模災害発生時に支援薬剤師受入、医薬品の供給等の拠点となる薬局として、三重県知事が指定している薬局です。

名称	郵便番号	所在地	電話番号	F A X 番号
三重県薬剤師会会営久居調剤薬局	514-1101	津市久居明神町風早 2093-1	059-256-6717	059-255-0771

2 津地域災害医療対策会議等の実施

平時から地域の関係機関が災害医療対策について協議する場として、津地域災害医療対策会議を設置しています。平成 29 年度は 7 月 29 日（土）に開催された内閣府主催大規模地震時医療活動訓練における地域訓練について、関係機関の情報共有・意見交換を行うとともに、情報伝達訓練や EMIS 訓練等を実施しました。

【構成員】津地区医師会、久居一志地区医師会、国立大学法人三重大学医学部附属病院、独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター、津歯科医師会、津薬剤師会、津市消防本部、津警察署、津南警察署、津市（地域医療推進室、危機管理課）、津地域防災総合事務所、津保健所

内容	開催日	開催場所	議題等
第 1 回津地域災害医療対策会議兼地域訓練ワーキンググループ	H 29 年 4 月 13 日（木）	津庁舎 64 会議室	内閣府主催大規模地震時医療活動訓練について 県内訓練ワーキンググループの報告について 災害拠点病院について
第 2 回津地域災害医療対策会議兼地域訓練ワーキンググループ	H 29 年 5 月 25 日（木）	津地区医師会 研修室	管内医療機関における地域訓練参加状況について 津地域訓練被害想定について 関係機関の参加状況について
第 3 回津地域災害医療対策会議兼地域訓練ワーキンググループ	H 29 年 6 月 22 日（木）	津庁舎 64 会議室	大規模地震時医療活動訓練 津地域訓練について
第 4 回津地域災害医療対策会議兼地域訓練ワーキンググループ	H 29 年 7 月 13 日（木）	津庁舎 大会議室	大規模地震時医療活動訓練 津地域訓練について
第 5 回津地域災害医療対策会議	H 29 年 10 月 12 日（木）	津庁舎 52 会議室	大規模地震時医療活動訓練における課題等について 三重中央医療センター大規模災害時訓練における課題等について

3 津地域災害医療コーディネーター

地域災害医療コーディネーターは、大規模災害発生時に混乱しがちになる現地において、災害医療クラスターミーティングの開催、病院・救護所への医療チーム等の派遣調整、状況やニーズの把握、災害拠点病院内に設置される DMAT 活動拠点本部や他機関との調整などの業務を行ないます。

所属	役職	氏名
三重大学医学部附属病院	助教	石倉 健
三重中央医療センター	医師	浦田 康久
津地区医師会	理事（渡部クリニック）	渡部 泰和
久居一志地区医師会	理事（一志眼科）	豊田 浩司

委嘱期間：平成 29 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日

政策 2 命を守る

施策	: 121 地域医療提供体制の確保
基本事業	: 12102 医療分野の人材確保

主な取組内容

- ・医療関係者として従事しようとする学生等に対して保健所実習指導を実施します。
- ・高校生を対象に夏休みを利用して看護業務を体験し、看護職をめざすきっかけづくりをするとともに、看護についての理解を深めていただきます。

1 研修・実習

地域の保健福祉関係の人材育成のための、研修医・実習生を受入れ指導を行いました。

平成29年4月1日～平成30年3月31日

	病院・学校名等	数	グループ数	実習日数
医師	国立病院機構三重中央医療センター	1	—	1か月
医学生	新潟大学医学部	1		2日
看護学生	三重大学医学部看護学科	5人	1	6日
	三重県立看護大学	4人	1	8.5日
	鈴鹿医療科学大学	6人	1	4日
管理栄養士養成施設学生	鈴鹿医療科学大学	8人	2	各5日
	名古屋学芸大学	1人		
薬学生	鈴鹿医療科学大学	9人	3	各1日
	愛知学院大学	3人		
	名城大学	4人		
	京都薬科大学	1人		
	金城学院大学	1人		
	同志社女子大学	1人		
	名古屋市立大学	1人		

2 1日看護体験 (平成29年7月27日(木)、28日(金)実施)

病院名	受入数	内男性
岩崎病院	2	
第二岩崎病院	2	
県立こころの医療センター	10	
国立病院機構三重病院	8	3
武内病院	8	
津生協病院	12	2
遠山病院	10	
永井病院	6	
三重大学医学部附属病院	18	3
若葉病院	2	
県立一志病院	2	
国立病院機構三重中央医療センター	12	
国立病院機構榊原病院	6	
榊原温泉病院	6	
七栗記念病院	2	
計	106	8

学校名	申込人数
三重県立津高等学校	3
津西高等学校	5
三重県立津東高等学校	3
津商業高校	13
久居高等学校	12
三重県立久居農林高等学校	3
高田高等学校	44
セントヨゼフ女子学園	22
青山高等学校	1
計	106

3 医療関係従事者免許証申請状況 (件数：平成29年度)

職種	免許申請	名簿訂正 書換交付申請	再交付申請	名簿登録消除 返納申請
医師	54	14	1	3
歯科医師	4	4	1	0
薬剤師	17	14	1	0
保健師・助産師・看護師	234	183	1	0
各種技師等	55	26	1	0
管理栄養士	27	11	1	0
栄養士	26	20	4	0

4 医療関係従事者数

種別	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	歯科技工士	歯科衛生士
人数	1,082	223	746	147	121	3,514	726	90	337

※ 医師・歯科医師・薬剤師は、平成28年の厚生労働省の調査による。

※ 保健師・助産師・看護師・准看護師については、平成28年三重県保健師・助産師・看護師・准看護師の就業状況について(平成30年6月18日修正版)による。

※ 歯科技工士・歯科衛生士は H28衛生行政報告例(看護職、歯科従事者届)による。

施 策	: 121 地域医療提供体制の確保
基本事業	: 12103 救急医療等の確保

主な取組内容

・医療を必要とする人が、場所や時間を問わず適切な医療を受けられる環境を整備します。

救急医療対策

1 津・久居地域メディカルコントロール協議会

津・久居地域におけるメディカルコントロール体制整備を促進するため、平成16年度から津保健所内に設置しています。

地域メディカルコントロール作業検討会（津市消防本部に設置）または消防本部からのプロトコル策定、事後検証体制等に関する提案及び気管挿管申請について審議し、地域の実情に即したメディカルコントロール体制整備を促進しています。

（1）委員構成

三重大学医学部附属病院、三重中央医療センター、榊原温泉病院、永井病院、津地区医師会、久居一志地区医師会、津市消防本部、津保健所 8名

（2）内容

日程・場所	議 題
平成29年4月26日（水） 津庁舎64会議室	報告事項 1) 平成28年度津・久居地域MC作業検討会の活動報告について 2) 津市消防本部救急救命士等認定状況について 3) 医学会等参加状況について 4) 事後検証会について 協議事項 1) 平成29年度救急救養訓練等実施計画について

2 救急医療体制

（1）一次救急医療体制

津市西丸之内に「津市応急クリニック」、津市大里窪田町に「津市休日応急・夜間こども応急クリニック」、津市久居本町に「津市久居休日応急診療所」が設置され、一次救急患者に対応しています。

（2）二次救急医療体制

休日・夜間における入院治療を必要とする重症救急患者を対象として、9病院が輪番制により対応しています。

名称	所在地住所
遠山病院	津市南新町 17-22
武内病院	津市北丸之内 82 番地
医療法人 永井病院	津市西丸之内 29-29
医療法人 吉田クリニック	津市栗真中山町 79-5
津生協病院	津市船頭町 1721
岩崎病院	津市一身田町 333 番地
三重中央医療センター	津市久居明神町 2158-5
大門病院	津市大門 1 番 3 号
榊原温泉病院	津市榊原町 1033-4

(3) 三次救急医療体制

平成22年6月1日に三重大学医学部附属病院に救命救急センターが設置され、重篤救急患者に対応するため、24時間体制で高度、専門的な医療の提供を行っています。

また、ドクターヘリが三重大学医学部附属病院と伊勢赤十字病院を基地として、平成24年2月から2ヶ月交代で運用されています。

(4) 救急告示医療機関

24時間体制で救急隊により搬送される傷病者に対応する医療機関で、県知事の認定のもと12病院が設置されています。

名称	所在地住所
遠山病院	津市南新町 17-22
武内病院	津市北丸之内 82 番地
医療法人 永井病院	津市西丸之内 29-29
若葉病院	津市南中央 28 番 13 号
三重大学医学部附属病院	津市江戸橋 2-174
医療法人 吉田クリニック	津市栗真中山町 79-5
津生協病院	津市船頭町 1721
岩崎病院	津市一身田町 333 番地
三重中央医療センター	津市久居明神町 2158-5
大門病院	津市大門 1 番 3 号
榊原温泉病院	津市榊原町 1033-4
三重県立一志病院	津市白山町南家城 616

施 策	: 121 地域医療提供体制の確保
基本事業	: 12104 医療安全体制の確保

主な取組内容

- ・医療の安全確保や医療に関する情報提供、相談体制の充実を図ります。
- ・医療機関に対し、立入検査を実施し、医療機関が備えるべき医療の安全を確保します。

1 保健医療関係施設状況

(1) 施設数

(平成30年3月31日現在)

地域医療支援病院	精神病院	一般病院	医科診療所	歯科診療所	助産所	施術所 (うち出張のみ)	歯科技工所	衛生検査所
1	4	18	286	140	10	142 (24)	49	3

(休止を含む)

(2) 病床数の内訳

(平成30年3月31日現在)

一 般	療 養		結 核	精 神	感染症	計
	病 院	診療所				
2,629	834	9	30	905	8	4,415

(3) 開設・廃止等状況

(平成29年度)

施設	立入検査件数	開設許可件数	開設届件数	廃止届出件数
病 院	8	1	0	2
医科診療所	8	6	7	9
歯科診療所	0	0	2	5
助 産 所	0	0	1	0
施 術 所	6	-	6	3
歯科技工所	0	-	0	0
衛生検査所	0	0	-	0
計	22	7	16	19

2 立入検査実施状況

病 院	保健所	対象施設数	実施数	実施率 (%)
	津保健所管内	23	23	100.0
	伊賀保健所管内	6	6	100.0
	尾鷲保健所管内	3	3	100.0
	熊野保健所管内	2	2	100.0
	計	34	34	100.0

診 療 所	保健所	対象施設数	実施数	実施率 (%)
	津保健所管内	411(414)	84	20.4
	伊賀保健所管内	200(202)	43	21.5
	尾鷲保健所管内	49(49)	12	24.5
	熊野保健所管内	57(60)	10	17.5
	計	717(725)	149	20.7

() は、全診療所数

(内訳) 医科診療所	保健所	対象施設数	実施数	実施率 (%)
	津保健所管内	273	51	18.7
	伊賀保健所管内	131	28	21.4
	尾鷲保健所管内	32	8	25.0
	熊野保健所管内	38	6	15.8
	計	474	93	19.6

(内訳) 歯科診療所	保健所	対象施設数	実施数	実施率 (%)
	津保健所管内	138	33	23.9
	伊賀保健所管内	69	15	21.7
	尾鷲保健所管内	17	4	23.5
	熊野保健所管内	19	4	21.1
	計	243	56	23.0

施 策	: 122 介護の基盤整備と人材の育成・確保
基本事業	: 12201 介護保険事業の円滑な運営とサービスの質の向上

主な取組内容

・介護保険事業の安定的な運営を支援するとともに、質の高いサービスが提供されるよう介護従事者の人材育成、資質向上を図ります。

1 介護サービス提供基盤整備状況

訪問介護、通所介護を始めとする各種の介護保険サービスを提供する事業所について、指定や変更に係る受付を行っています。

(1) 介護保険サービス指定事業所数（津保健所管内県指定分）

（平成30年4月1日現在）

介護給付		予防給付	
区 分	事業所数	区 分	事業所数
訪 問 介 護	98	介 護 予 防 訪 問 介 護	-
訪 問 入 浴 介 護	5	介 護 予 防 訪 問 入 浴 介 護	5
訪 問 看 護	19	介 護 予 防 訪 問 看 護	18
訪問リハビリテーション	7	介護予防訪問リハビリテーション	6
居宅療養管理指導	7	介護予防居宅療養管理指導	7
通 所 介 護	65	介 護 予 防 通 所 介 護	-
通所リハビリテーション	27	介護予防通所リハビリテーション	27
短期入所生活介護	38	介護予防短期入所生活介護	37
短期入所療養介護	15	介護予防短期入所療養介護	15
特定施設入居者生活介護	11	介護予防特定施設入居者生活介護	10
福祉用具貸与	31	介護予防福祉用具貸与	31
特定福祉用具販売	30	特定介護予防福祉用具販売	30
小 計	353	小 計	186
		合 計	539

※みなし指定分は除きます。

(2) 介護保険サービス指定事業者数（津市指定分）

（平成30年4月1日現在）

介護給付		予防給付	
区 分	事業所数	区 分	事業所数
小規模多機能型居宅介護	8	介護予防小規模多機能型居宅介護	8
認知症対応型通所介護	11	介護予防認知症対応型通所介護	10
認知症対応型共同生活介護 （グループホーム）	30	介護予防認知症対応型 共同生活介護（グループホーム）	29
夜間対応型訪問介護	1		
地域密着型特定施設 入居者生活介護	0		
地域密着型介護老人福祉施設 入居者生活介護	3		
地域密着型通所介護	71		
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	2		
看護小規模多機能型居宅介護	0		
介護予防支援	10	小 計	47
小 計	136	合 計	183

（平成30年4月1日現在）

総合事業（介護予防・生活支援サービス事業）			
区 分	事業所数	区 分	事業所数
介護予防訪問型サービス	77	介護予防通所型サービス	110
生活支援訪問サービス	76	生活支援通所サービス	116
地域ささえあい訪問支援	18	地域ささえあい通所支援	15
短期集中専門訪問サービス	5	短期集中専門通所サービス	6
介護予防ケアマネジメント	10	合 計	433

施 策	: 122 介護の基盤整備と人材の育成・確保
基本事業	: 12203 介護基盤の整備促進

主な取組内容

・施設サービスを必要とする高齢者が、円滑に施設入所できるよう特別養護老人ホーム等の介護基盤の整備を支援します。

1 各種福祉施設の整備状況（津保健所管内）

（平成30年4月1日現在）

養護老人ホーム		特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）		軽費老人ホーム A 型		ケアハウス（軽費老人ホーム C 型）	
施設	定員	施設	定員	施設	定員	施設	定員
2	160	29	1,621	1	50	7	280

介護老人保健施設	
施設	定員
13	1,105

介護療養型医療施設	
施設	病床数
2	146

施 策	: 124	こころと身体 の健康対策の推進
基本事業	: 12401	健康づくり・生活習慣病 予防活動の推進

主な取組内容

・県民の皆様、NPO、企業、学校、市町等と連携して、運動、食事、禁煙、口腔ケアなど、個人の適正な生活習慣が定着するための活動を支援し、県民一人ひとりの生活習慣の改善を推進します。

1 健康づくりの推進（ヘルシーピープルみえ・21の取組）

（1）総合

生活習慣病は早い時期からの予防が大切であり、地域・職域・学校との連携は欠かせません。そこで、生涯を通じて健康な生活が送れるように、生活習慣病予防の体制づくりを進めました。

生活習慣病の早期発見・早期治療につながる特定健康診査・特定保健指導の効果的な実施方法や健康づくりに関する情報共有・意見交換を関係機関と行い、健康づくりを推進していくための人材育成の研修会等を行いました。

ア 津地域・職域連携推進協議会

生活習慣病を予防するためには、一人ひとりが自ら健康づくりに取り組むとともに、健康教育や健康相談、健康診査などの保健事業による生涯を通じた支援が必要です。

そのため、地域保健と職域保健との連携により、健康情報の共有や有効活用による継続的な保健サービスの提供を行い、働きざかり層の生活習慣病の予防と健康寿命の延伸のための協議を行いました。（委員数 17人）

第1回 平成29年8月24日 15時00分～17時00分

三重県内の働く世代におけるロコモティブシンドロームの現状について
津市第3次健康づくり計画について
平成29年度事業計画

第2回 平成30年1月31日 13時30分～14時30分

平成29年度研修会について
各職場におけるストレスチェックの取組と課題について

イ 津地域・職域協働研修会

日 時：平成30年1月31日 14時30分～16時30分

場 所：三重県津庁舎 大会議室

対 象：地域・職域保健における健康指導者・管理者等 39人

内 容：講演 「ロコモ予防でストレス解消!!」

～運動によるストレス対処法を学ぶ～

講師 鈴鹿回生病院 スポーツ医学センター 加藤 俊宏先生

ウ 啓発

健康づくり啓発

日 時 平成 29 年 10 月 5 日

内 容 コープみえ「暮らしの活動交流会」において啓発。

物品配布（野菜摂取推進、減塩、自殺対策、感染症対策）

参加者数 約 250 人

メンタルヘルス啓発

日 時 平成 30 年 3 月 1 日～10 日

内 容 自殺対策強化月間啓発に併せ啓発物品の配布

(2) たばこ

平成 29 年 5 月 31 日～6 月 6 日の禁煙週間に禁煙啓発用ポスターの掲示及び啓発用リーフレットを配布し、喫煙防止を呼びかけました。

(3) 栄養・食生活

ア ネットワークを活かした健康増進と生活習慣病予防

保健・医療・福祉・教育・産業など異なる職域とのネットワークを生かし、地域の食生活上の問題に連携して取り組むため、情報共有を行いました。

イ 津地域栄養管理ネットワーク研究会

委員会の開催 委員数：10 人

第 1 回 平成 29 年 7 月 3 日 9 時 30 分～11 時 30 分 出席者：8 人

平成 29 年度活動方針及び事業計画

津市第 3 次健康づくり計画について

平成 28 年度県民健康・栄養調査の結果概要について

第 2 回 平成 29 年 9 月 11 日 14 時 00 分～16 時 00 分 出席者：10 人

管内の健康づくりのための優先課題について

平成 29 年度給食施設従事者研修会(地域栄養管理ネットワーク研究会合同研修会) について

第 3 回 平成 30 年 3 月 22 日 14 時 00 分～16 時 00 分 出席者：9 人

管内の健康づくりのための取組案について

平成 30 年度給食施設従事者研修会(地域栄養管理ネットワーク研究会合同研修会) について

平成 30 年度委員の選出について

2 健康食育推進事業

幅広い世代を対象とした健康的な食習慣の形成に向けて、食事バランスに対する理解や活用等を図り、多様な主体と協働した食育活動や県民のライフステージに応じた食環境づくりを推進します。

(1) 野菜フル350推進事業

県民が健康的な食生活が実践できるように、全ての年代で不足している野菜の1日の摂取目標量を350g（食事バランスガイドで副菜5つ）とし、野菜摂取の増加を推進します。

ア セミナーの開催

日 時：平成29年10月31日、11月1日、11月2日（計3日間）
場 所：三重県津庁舎 6階 大会議室
対 象：管内の調理師 149人
内 容：健康づくりと食生活

イ 協働による県民への普及・啓発

① 「2017年度商品・くらしの活動交流会」における啓発

日 時：平成29年10月5日 10時00分～13時00分
協働団体：生活協同組合コープみえ
場 所：メッセウイングみえ
対 象：生協会員他一般参加者 約250人
内 容：野菜摂取啓発パネル展示及び啓発物品配布

② 「健康づくり応援の店」との協働啓発

実施時期：平成29年6月、9月
協働団体：津保健所管内健康づくり応援の店
場 所：各健康づくり応援の店
対 象：一般県民
内 容：6月の食育月間及び9月の食生活普及運動期間において野菜摂取の啓発、生活習慣病予防啓発等の実施

③ 出前講座

日 時：平成29年12月14日 10時30分～11時20分
協働団体：放課後児童支援員講習
場 所：サンワーク津 大会議室
対 象：放課後児童支援員等 100人
内 容：子どもの栄養

④ 国民健康栄養調査に併せた啓発

実施時期：平成29年12月
対 象：国民健康栄養調査における栄養摂取状況調査及び血液検査協力世帯10世帯
内 容：野菜摂取推進リーフレットの配布

(2) 食育推進（健康教育）

実施日：平成29年4月7日 13時00分～14時00分
場 所：白山保健福祉センター
対 象：白山男性料理教室会員及びヘルスマイト 15人
内 容：高齢者の感染症について

(3) 健康づくり応援の店協働事業

ア 管内登録店舗数

管内登録店舗延数	40店
平成29年度新規登録店舗数	0店

イ 健康栄養情報の発信

各月間における店舗による情報発信

期 間	協働店舗数	内 容
食育月間 (平成29年6月1日～30日)	20店	食育・食生活改善の参考となる掲示物・啓発品の配布
食生活改善普及運動及び健康増進月間 (平成29年9月1日～30日)	5店	

3 栄養施行事務事業

(1) 給食施設指導事業

健康増進法、健康増進法施行細則に基づき、給食施設指導を実施しました。また、管内給食施設関係者の資質向上を目指し、介護食をテーマとした研修会を開催しました。

ア 巡回指導実施施設数

施設規模	管内給食施設数 (年度計画数)	指 導 数
① 知事指定施設	8	4
② ①以外の特定給食施設	132	46
③ 一般給食施設	111	27
計	251	77

伊賀保健所管内応援 9施設

イ 給食施設従事者研修会（津地域栄養管理ネットワーク研究会合同研修会）

日 時：平成29年10月25日 13時30分～16時30分

場 所：三重県津庁舎 大会議室

対 象：給食施設関係者 100人

内 容：講演「利用者に応じた望ましい給食を提供するために求められること」

講 師：大阪市立大学大学院 教授 由田 克士先生

話題提供：「大量調理施設衛生管理マニュアル」の改正について

講 師：津保健所 保健衛生室 衛生指導課 佐々木 恵

(2) 人材育成・支援等

区 分	回 数	延 人 員
津市栄養士支援	随 時 (うち津市栄養士ミーティング出席 4回)	
地区組織育成	3回	160人
地域活動栄養士研修	1回	9人
管理栄養士臨地実習受入	2回	11人

(3) 栄養相談指導事業

複数の疾病を有する人等への専門的栄養相談・指導等を行いました。

個別指導人数
3人

健康増進法による虚偽誇大広告、栄養表示基準等の相談・指導を行いました。

相談・指導件数
15件

(4) 災害時の栄養・食生活支援

セミナー支援

日時：平成29年8月26日13時30分～15時00分

場所：三重県総合文化センター生涯学習棟大研修室

対象：医療・看護・保健・福祉・介護等の専門職種 20人

内容：講演「避難所における栄養管理」

日時：平成29年8月27日13時00分～15時00分

場所：三重大学 工学部 15番教室

対象：みえ防災コーディネーター育成講座受講生 37人

内容：講演「災害時の食事」

4 国民健康・栄養調査

健康増進法に基づき、国が指定する地区住民の身体状況及び栄養摂取状況、生活習慣等の調査を実施しました。

実施期間	調査地区	対象世帯数
平成29年11月	津市内1地区	14世帯

施策	: 124	こころと身体 の健康対策の推進
基本事業	: 12403	こころ の健康づくりの推進

主な取組内容

・県民一人ひとりのこころの健康を保ち、健やかに生活できるよう、うつ・自殺対策を推進します。

1 普及啓発事業(自殺予防対策)

こころの健康づくり・自殺予防に関する普及啓発を図るために、自殺予防週間や対策強化期間にあわせて、街頭啓発や啓発コーナーの設置を行い、津市内でのイベント開催時に啓発物品等の配布を行っています。

開催日	内 容	開催場所	対象
平成 29 年 8 月 29 日	自殺予防週間における街頭啓発	イオン津及びイオンタウン津城山	市民 約 800 人
平成 29 年 9 月 8 日～ 9 月 15 日	自殺予防週間における啓発コーナーの設置	津庁舎 1 階ロビー	庁舎利用者
平成 29 年 10 月 5 日	コープみえ「2017 年度商品・くらしの活動交流会」における自殺対策啓発	メッセウイングみえ	保健所ブース来所者数 250 人
平成 30 年 2 月 21 日	自殺対策強化月間における街頭啓発	津駅	市民 約 1,000 人
平成 30 年 3 月 1 日～ 3 月 14 日	自殺対策強化月間における啓発コーナーの設置	津庁舎 1 階ロビー	庁舎利用者

2 人材育成事業

(1) 自殺予防啓発教育

開催日	対 象 者	回数	受講者数
平成 29 年 4 月～ 30 年 2 月末	看護・栄養学生等	3	14 名

(2) こころの健康づくり講演会(津地域・職域連携推進事業と共催)

開催日	内 容	開催場所	対象	人数
平成 30 年 1 月 31 日	職場の健康づくり(メンタルヘルス)研修会 講演:「ロコモ予防でストレス解消!!～運動によるストレス対象法を学ぶ～」 講師: 鈴鹿回生病院スポーツ医学センター 理学療法士 加藤俊宏先生	津庁舎 大会議室	事業所関係者、メンタルヘルスに興味がある者、津地域・職域連携推進協議会委員、こころ津むぎねつと参加機関関係者等	40 名

3 関係機関との連携

連 携 先	開催回数	内 容
津市自殺対策庁内 連絡会議	3回	<ul style="list-style-type: none">・普及啓発事業計画について・今年度の取組内容について・人材育成研修について・地域自殺対策計画について

施 策 : 124 こころと身体の健康対策の推進
 基本事業 : 12404 難病対策の推進

主な取組内容

・難病患者や家族に対して、療養上の不安を解消できる場の提供や、地域支援者が難病について正しく理解をすることで、難病患者が適切な医療提供・療養支援を受けることができるような体制の整備を図ります。

1 特定医療費（指定難病）等受給状況

発症原因が不明で、治療方法が未確立であるため長期にわたる治療が必要な難病患者を支援するための医療助成制度です。

平成27年1月1日から施行された「難病の患者に対する医療等に関する法律」に基づく特定医療費（指定難病）と、特定疾患治療研究事業に基づく特定疾患医療の受給申請を受理し、厚生労働省が定める認定基準を満たしている方に対して受給者証を交付しています。

平成30年3月31日現在

番号	病 名	人数	番号	病 名	人数
1	球脊髄性筋萎縮症	1	70	広範脊柱管狭窄症	5
2	筋萎縮性側索硬化症	31	71	特発性大腿骨頭壊死症	27
5	進行性核上性麻痺	21	72	下垂体性 ADH 分泌異常症	11
6	パーキンソン病	350	74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	5
7	大脳皮質基底核変性症	11	75	クッシング病	3
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	12
11	重症筋無力症	46	78	下垂体前葉機能低下症	30
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	40	79	家族性高コレステロール血症 (ホモ接合体)	1
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎 ／多巣性運動ニューロパチー	8	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
17	多系統萎縮症	42	83	アジソン病	1
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	87	84	サルコイドーシス	32
19	ライソゾーム病	2	85	特発性間質性肺炎	12
22	もやもや病	28	86	肺動脈性肺高血圧症	12
23	プリオン病	1	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	7
28	全身性アミロイドーシス	10	89	リンパ管筋腫症	2
30	遠位型ミオパチー	3	90	網膜色素変性症	46
34	神経線維腫症	12	92	特発性門脈圧亢進症	1
35	天疱瘡	6	93	原発性胆汁性肝硬変	67
37	膿胞性乾癬(汎発型)	1	94	原発性硬化性胆管炎	2
40	高安動脈炎	8	95	自己免疫性肝炎	8
42	結節性多発動脈炎	1	96	クローン病	91
43	顕微鏡的多発血管炎	5	97	潰瘍性大腸炎	261
44	多発血管炎性肉芽腫症	5	98	好酸球性消化管疾患	1

45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	7	113	筋ジストロフィー	7
46	悪性関節リウマチ	12	118	脊髄髄膜瘤	1
47	バージャー病	5	123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	127	前頭側頭葉変性症	4
49	全身性エリテマトーデス	120	144	レノックス・ガストー症候群	1
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	57	145	ウエスト症候群	1
51	全身性強皮症	87	158	結節性硬化症	3
52	混合性結合組織病	23	162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	3
53	シェーグレン症候群	23	167	マルファン症候群	3
54	成人スチル病	4	210	単心室症	1
56	ベーチェット病	31	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1
57	特発性拡張型心筋症	87	222	一次性ネフローゼ症候群	12
58	肥大型心筋症	12	224	紫斑病性腎炎	1
60	再生不良性貧血	15	226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	1
61	自己免疫性溶血性貧血	3	227	オスラー病	2
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	1
63	特発性血小板減少性紫斑病	47	235	副甲状腺機能低下症	1
64	血栓性血小板減少性紫斑病	1	262	原発性高カイクロミクロン血症	1
65	原発性免疫不全症候群	2	271	強直性脊椎炎	7
66	IgA 腎症	21	283	後天性赤芽球癆	1
67	多発性嚢胞腎	21	296	胆道閉鎖症	3
68	黄色靱帯骨化症	12	300	I g G 4 関連疾患	4
69	後縦靱帯骨化症	153	306	好酸球性副鼻腔炎	22

計 2,185人

2 難病在宅ケア事業

所内面接

医療受給者証交付新規申請時等に患者及び家族に面接し、疾病や医療及び療養生活等について相談・指導を行っています。

(平成29年度)

相 談 ・ 指 導 件 数
318件

3 肝炎治療特別促進事業

C型肝炎ウイルス性肝炎の根治を目的として行われるインターフェロン治療及びインターフェロンフリー治療並びにB型肝炎ウイルス性肝炎に対して行われる核酸アナログ製剤及びインターフェロン治療にかかる医療費を助成します。

(平成30年3月31日現在)

インターフェロン治療受給者数	0人
インターフェロンフリー治療受給者数	81人
核酸アナログ製剤治療受給者数	127人

4 原爆被爆者健康管理の状況

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づき、被爆者健康手帳所持者に対する健康診断の実施及び被爆者のうち認定された者に対して、医療特別手当等の給付事務を行っています。

(1) 定期健康診断実施状況

(平成29年度)

	対象者数	一般検査 受診者数	肝機能検 査 受診者数	ヘモグロビ ンA1C検 査受診者数	精密検査 受診者数
第1回健康診断	41人	16人	16人	14人	0人
第2回健康診断	41人	13人	13人	12人	0人

※ 健康診断対象者は被爆者健康手帳所持者・第二種健康診断受給者証交付者です。

(2) 手当給付状況

(平成30年3月31日現在)

手 当 の 種 類	受 給 者 数
医療特別手当	1人
保健手当 (増額)	1人
健康管理手当	35人
計	37人

政策 3 共生の福祉社会

施策	: 131 障がい者の自立と共生
基本事業	: 13101 障がい者の地域移行の推進と福祉サービスの充実

主な取組内容

・障がい者が地域で自立して暮らすことの出来るよう日中活動の場やグループホーム等の整備など、サービス基盤の整備を進めます。

1 指定障害者福祉サービス事業所等設置数

(障害者総合支援法・児童福祉法)

(平成 30 年 4 月 1 日現在)

	事業等の種類	件数
障害福祉サービス	居宅介護	46
	重度訪問介護	31
	同行援護	19
	行動援護	0
	療養介護	2
	生活介護	25
	短期入所	18
	重度障害者等包括支援	0
	共同生活援助（介護サービス包括型）	24
	共同生活援助外部サービス利用型	4
	自立訓練（機能訓練）	0
	宿泊型自立訓練	1
	自立訓練（生活訓練）	3
	就労移行支援	4
	就労継続支援 A	9
就労継続支援 B	39	
障害者支援施設	施設入所支援	10
	生活介護	10
	就労移行支援	1
	自立訓練（機能訓練）	1
	自立訓練（生活訓練）	2
	就労継続支援 B	0
相談支援	一般相談支援	7
	特定相談支援	33
	障害児相談支援	21
障害児通所支援	児童発達支援	22
	医療型児童発達支援	0
	放課後等デイサービス	34
	保育所等訪問支援	1
障害児入所支援	福祉型障害児入所施設	1
	医療型障害児入所施設	2

施 策	: 131 障がい者の自立と共生
基本事業	: 13105 精神障がい者の保健医療の確保

主な取組内容

・精神科救急医療体制の整備、精神障がいの地域生活定着のためのアウトリーチなど、精神障がい者やその家族が安心して暮らせる体制づくりに取り組みます。

1 精神障がい者の保健医療の確保

精神保健福祉の向上に努めるとともに、関係機関と連携し精神障がい者の早期治療、再発防止・社会復帰を推進します。

(1) 精神保健措置事業

精神保健福祉法第22・23条に基づく申請及び通報件数等の状況

ア 平成29年度通報等状況（件数）

	通報・申請	要措置	非措置	鑑定不要
22条申請	1	1	0	0
23条通報	47	30	14	3
計	48	31	14	3

イ 年度別通報等推移（件数）

24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
33	39	42	31	36	48

(2) 精神通院医療事業

ア 自立支援医療（精神通院）受給者数（人）

（平成30年3月末現在）

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
津市	4,093	4,262	4,378	4,498	4,667

イ 疾患分類別年齢別受給者状況（人）

（平成30年3月末現在）

疾患分類【ICD-10】	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳以上	計
症状性を含む器質性精神障害【F0】	0	6	29	81	116
精神作用物質使用による精神及び行動の障害【F1】	0	9	57	43	109
統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害【F2】	4	255	533	322	1,114
気分（感情）障害（うつ病を含む）【F3】	19	438	977	493	1,927
神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害【F4】	18	143	200	64	425
生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群【F5】	0	9	8	1	18
成人のパーソナリティおよび行動の障害【F6】	2	7	14	2	25
精神遅滞（知的障害）【F7】	14	26	28	15	83
心理的発達の障害【F8】	121	129	43	1	294
小児期及び青年期に発症する行動及び情緒の障害、特定不能の精神障害【F9】	75	32	22	0	129
てんかん【G40】	92	116	119	57	384
分類不能	2	10	17	14	43
計	347	1,180	2,047	1,093	4,667

（3）精神障害者保健福祉手帳交付事業

ア 精神障害者保健福祉手帳所持者数（人）

（平成30年3月末現在）

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
津市	1,758	1,819	1,970	2,064	2,258

イ 等級別年齢別受給者状況（人）

（平成30年3月末現在）

等級	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳以上	計
1級	3	23	93	82	201
2級	51	344	646	394	1,435
3級	15	188	312	107	622
合計	69	555	1,051	583	2,258

（4）精神障がい者保健福祉相談指導事業

ア 来所相談（延人員）（人）

24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
106	95	92	95	81	96

イ 電話相談（延人員）（人）

24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
2,355	1,471	1,832	1,611	1,220	1,262

ウ 訪問（延人員）（人）

24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
77	78	92	117	166	207

（5）精神障害者地域生活支援事業

ア 津地域精神保健福祉連絡協議会（こころ津むぎねっと）の開催

保健所として企画調整機能を活かし精神保健福祉連絡協議会を定期的に行いました。

回	開催日	内容	参加者数
1	平成29年6月14日	【講義】精神入院患者の地域生活への移行に向けた支援～当事者や家族のインタビューを交えて～	24人
2	平成29年12月4日	【講義】三重県精神障がい者アウトリーチ体制構築事業について～津圏域での実践報告及び鈴鹿圏域からのヒント～	34人

イ 措置通報等担当者連絡会の開催

回	開催日	内 容	参加者数
1	平成 29 年 11 月 8 日	措置通報の現状について報告 情報提供「精神保健医療福祉施策の現状 と課題」、各所属の現状及び意見交換	20 人
2	平成 29 年 2 月 23 日	措置通報の現状について報告 各所属からの現状報告及び意見交換	19 人

ウ 津市自立支援協議会（地域移行ワーキングへの参加）

内 容	主催者	回数
精神障がい者の地域移行に関する課題検討、地域移行 を推進するための課題、津市版ガイドラインの作成	津市	10 回

(6) 地域移行・地域定着支援事業への支援

ア 社会資源見学会 参加病院：こころの医療センター、榊原病院、久居病院

内 容	主催者	回数
【実行委員会】 見学会内容・時期・対象者、開催要領、アンケ ート等の検討、実施後評価	津市障がい者相談支 援センター	4 回
【社会資源見学会】 こころの医療センター、久居病院、榊原病院 の入院患者を対象とし、生活支援サービス付き 住宅「山の手サザンコート」見学、津マルシェ で買い物、昼食、ピアサポーターと交流 〈参加者：36 名〉		1 回

イ ピアサポーターと入院患者の交流会の参画

A こころの医療センター：病棟交流「チャレンジ会」

(毎月第 2 木曜 13:30～14:30)

内 容	主催者	回数
リハビリ病棟入院者と地域のピアサポータ ー（夢の郷・工房 T&T・一番ぼし利用者）と の交流会	こころの医療センター 社会福祉法人夢の郷	5 回

B 榊原病院：病棟交流「青空会」（毎月第4木曜 14:00～15:00）

内 容	主催者	回数
入院患者と地域のピアサポーター（スタジオピア）との交流会	榊原病院 NPO法人ピアサポートみえ	1回

(7) 三重県精神障がい者アウトリーチ構築事業への参加

内 容	主催者	回数
対象者選定会議（毎月1回）	久居病院	12回
評価検討委員会（年2回）		1回
個別ケース会議（適宜）		1回

(8) その他関係団体主催会議への参加及び支援

内 容	主催者	回数
津市精神保健福祉連合会総会	津市精神保健福祉連合会	1回
家族会「ときの会」例会	ときの会	2回
スタートライン総会 家族による家族学習会	スタートライン	1回
津高齢者虐待防止等ネットワーク全体会議	津市	1回
第1回中勢伊賀地域認知症疾患医療連絡協議会	中勢伊賀地域認知症疾患医療センター	1回
津地域依存症ネットワーク会議	こころの健康センター	1回
三重県ひきこもり支援ネットワーク会議	こころの健康センター	1回
地域ケア会議	精神科病院、保健所、包括支援センター	33回
医療観察法ケア会議	津保護観察所	22回

施 策	: 132 支え合いの福祉社会づくり
基本事業	: 13203 ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

主な取組内容

・歩行が困難な方の外出を支援し社会参加を促進するため、「三重おもいやり駐車場利用証制度」を推進します。

1 三重おもいやり駐車場利用証制度

(平成30年3月31日現在)

おもいやり駐車場区画数	交付者数
854区画	9,940人

政策 4 暮らしの安全を守る

施 策	: 144 薬物乱用防止等と医薬品の安全確保
基本事業	: 14401 薬物乱用防止対策の推進

主な取組内容

・民間団体、学校、市町等の関係機関が連携して、また協力団体をさらに拡大するなどにより地域の実情に応じた薬物乱用防止に関する啓発活動を行うとともに、再乱用防止対策や取り扱う施設の監視指導などに取り組みます。

1 薬物乱用防止対策

(1) 麻薬等関係施設数

(平成29年度)

業種	施設数	監視数
麻薬卸売業者	3	11
麻薬小売業者	100	52
麻薬診療施設（病院）	19	32
麻薬診療施設（診療所）	121	7
麻薬研究者	9	6
大麻研究者	1	1
向精神薬卸売業者	1	0
向精神薬試験研究施設	2	1
覚せい剤研究者	1	2
覚せい剤原料取扱者	7	14
計	264	126

(2) 県民参加によるけしクリーンアップ事業（平成29年4月1日～6月30日）

けしの除去活動（除去本数）

セティゲルム種 4,847本

ソムニフェルム種 0本

(3) 街頭啓発活動

津地区薬物乱用防止指導者協議会、薬物乱用防止啓発団体、他関係機関の協力を得て管内中高生を対象として薬物乱用防止を呼びかける街頭キャンペーンを実施しました。

ア 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

日 時：平成29年7月13日（木）7時30分～8時30分

場 所：近鉄津駅前及び近鉄津新町駅前

参加者数：45人 啓発対象人数 約3,000人

イ 「麻薬・覚醒剤乱用防止運動」

日 時：平成29年11月16日（木）14時00分～15時00分

場 所：イオン津城山店

参加者数：47人 啓発対象人数 約3,000人

施 策	: 144 薬物乱用防止等と医薬品の安全確保
基本事業	: 14402 人と動物との共生環境づくり

主な取組内容

・動物愛護や適正な管理に係る効果的な取組を推進するとともに、民間団体等との連携体制を確立し、動物による危害発生防止に取りくみます。

1 狂犬病予防・動物愛護管理関係等業務

狂犬病予防および動物の適正飼養推進のため、畜犬の保護、収容、放し飼い禁止の啓発を行うと共に正しい飼い方を指導し、人畜その他への危害の発生防止に努めています。

(1) 犬抑留、返還及び猫引取状況

(平成29年度)

犬関係					
捕獲・保護 ※1	有料引取		負傷保護	返還数※2	処分数 (うち譲渡数)
	親犬	子犬			
72	2	0	1	46	26 (17)

※1 動物愛護管理法第35条第3項(所有者不明)の引取りを含む。

※2 有料引取取下の2頭分を含む。

(平成29年度)

猫関係					
有料引取		無料引取	負傷保護	返還数	処分数 (うち譲渡数)
親猫	子猫				
2	0	46	47	2	93 (23)

(2) 苦情、問い合わせ状況

(平成29年度)

区分	件数
負傷動物(犬・猫)収容	101
野犬捕獲	23
犬引き取り、猫引き取り	216
放飼、糞尿、鳴声等苦情	229
譲渡に関すること	59
失踪動物照会	427
狂犬病登録・注射	12
犬咬傷事故	41
その他	391
計	1,499

(3) 動物取扱業登録

「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づく第1種動物取扱業の登録施設に対し、飼養動物や施設の管理等が適切に行われているか、監視指導を定期的に行っています。

(平成29年度)

区分	総施設数	販売	保管	貸出	訓練	展示	合計
登録数 (平成29年3月末)	125	71	69	3	9	4	156
監視数	47	28	28	0	4	2	62
新規申請数	18	6	11	0	2	2	21
更新申請数	26	14	15	0	1	0	30

(3) 飼い主のいない猫の減少に向けた取組みについて

飼い主のいない猫への不妊・去勢手術 (TNR) を実施しています。

回数 (回)	手術数		
	雌 (匹)	雄 (匹)	合計 (匹)
9	77	68	145

TNR【T: trap(捕獲)、N: Neuter (不妊・去勢手術)、R: Return (元の場所に戻す)】

飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行うことで、新たに生まれる飼い主のいない猫を減らし、これらの猫を原因とする様々なトラブルを軽減させる取組です。

施 策	: 144 薬物乱用防止等と医薬品の安全確保
基本事業	: 14403 医薬品等の安全な製造・供給の確保

主な取組内容

- ・ 医薬品販売業等に対する監視指導を行うとともに、県民の皆さんに対して医薬品の正しい情報を提供します。
- ・ 毒劇物製造施設等の監視指導を実施し、毒物劇物の適正な取扱、事故発生防止に努めます。
- ・ 400m l 献血及び成分献血協力者の拡大を図るため、各種啓発事業を実施するとともに、将来の献血を担う若年層に対して、献血思想の向上を図るための啓発活動を実施します。

1 薬務業務

医薬品及び医療機器等の安全性及び有効性を確保するため、施設並びに取扱い者について、監視、指導を行い、これらによる危害防止に努めています。
また、毒物劇物取扱い者・営業者に対し、危害防止対策及び取扱い安全管理指導を行っています。

(1) 施設数及び監視数

ア 薬事関係施設数

(平成29年度)

業種		施設数	新規	更新	書換	監視数
薬局		120	9	20	1	66
薬局医薬品製造業		9	0	3	0	3
薬局医薬品製造販売業		9	0	3	0	3
一般販売業		0	0	0	0	0
特例販売業		1	0	0	0	1
店舗販売業		69	4	17	2	37
卸売販売業		60	3	10	1	22
配置販売業		69	3	17	0	0
配置販売従事者身分証交付		—	5	7	2	—
販売業	高度管理医療機器等	75	5	12	1	19
	管理医療機器	1073	53	—	—	147
賃貸業	高度管理医療機器等	0	0	0	0	0
	管理医療機器	3	0	—	—	0
販売・賃貸業	高度管理医療機器等	101	10	10	3	26
	管理医療機器	61	5	—	—	22
計		1650	97	99	10	346

イ 毒物劇物関係施設数

(平成29年度)

業種	施設数	登録	更新	監視数
毒物劇物製造業	4	0	2	3
毒物劇物輸入業	1	0	0	1
毒物劇物販売業	120	8	25	44
毒物劇物要届出業務上取扱者	4	—	—	2
計	129	8	27	50

ウ 毒物劇物取扱者試験

(平成29年度)

項目	受験者数 (人)
一般	16
農業用品目	15
特定品目	0
計	31

エ 毒物劇物運搬車両路上取締

市内1箇所において、毒物劇物を運搬する車両が法で規制された方法で運搬業務を行っているか取締を行いました。

日 時：平成29年11月22日（水）13時30分～15時

場 所：津市中村町786番地2

有限会社JOCエクスプレス前国道165号線下り車線

2 献血推進事業

血液需要の急増により、その円滑な供給を図るために、広く献血思想の普及啓発にあたるとともに、献血の組織化・育成に努めています。

また、医療機関の需要により400m l 献血及び成分献血を重点的にアピールすると共に若年者献血について積極的に呼びかけを行っています。

(1) 献血実施状況 (街頭キャンペーンを含む)

(平成29年度)

実施日	場所	受付者数 (人)	献血者数 (人)
平成 29 年 5 月 9 日 (火)	三重県津庁舎	21	19
平成 29 年 7 月 30 日 (日)	イオンタウン津城山	53	40
平成 30 年 1 月 9 日 (火)	三重県津庁舎	22	19
平成 30 年 1 月 14 日 (日)	イオンタウン津城山	54	45
計		150	123

(2) ヤングミドナサポーター募集事業

少子高齢化が進行するなか、献血可能人口の減少は避けることができません。高校生等の若年層に献血推進ボランティアを経験することで、「命の大切さ」や「他人への思いやりの心」を深く理解し、将来の血液事業の支えになっていただくことを期待して献血推進ボランティア「ヤングミドナサポーター」を募集しました。

ア 応募者数

区分	人数 (人)
大学生等	76
高校生	91
計	167

イ 活動内容

各街頭キャンペーンでの啓発活動
血液センター七夕飾りつけのボランティア
血液センター訪問
高校生献血推進会議

施 策	: 144 薬物乱用防止と動物愛護の推進等
基本事業	: 14404 生活衛生営業の衛生確保

主な取組内容

・生活衛生営業施設の監視指導や講習会等を行い、生活衛生営業施設の自主的な衛生管理の推進を図ります。

1 生活衛生業務

生活衛生営業施設については、各法令に基づき監視指導を行っています。

また、県民の施設の衛生水準向上に対するニーズの高まりに応えるため、生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律等に基づき育成指導を行っています。

(1) 生活衛生関係営業施設及び監視数

(平成29年度)

施設種別	施設数	新規数	監視数
理容所	300	4	48
美容所	572	24	72
クリーニング所	301	4	17
旅館	99	3	38
公衆浴場	61	0	28
興行場	11	1	3
計	1,344	36	206

(2) 平成29年度衛生消毒講習会

実施日	場所	対象	参加人数(人)
平成29年8月28日	津市桜橋	理容関係従事者	75
平成29年10月16日	津市久居東鷹跡町	理容関係従事者	44
平成29年10月30日	津市島崎町	美容関係従事者	55

(3) 平成29年度レジオネラ症防止対策講習会

日 時：平成29年11月13日
 場 所：津市桜橋
 対 象：公衆浴場関係従事者
 参加人数：54人

施 策	: 145 食の安全・安心の確保
基本事業	: 14501 食品の安全・安心の確保

主な取組内容

・食品の製造から消費に至る一貫した監視指導体制や食品事業者の自主管理体制を整備し、食品の安全・安心の確保をはかります。

1 食品・乳肉衛生業務

食品関係営業施設に係わる食品に起因する事故を未然に防止するため、食中毒の発生のリスクの高い大規模施設、集団給食施設、生食用魚介類販売店等を重点的に、監視指導を行うと共に、食品の収去検査を実施しています。

また、営業者の自主管理体制を推進するため、講習会、研修会等を実施しています。

(1) 食品関係営業許可施設数及び監視数

(平成29年度)

業 種	施設数	監視数	業 種	施設数	監視数
飲食店営業	2,640	774	食肉製品製造業	4	3
菓子（パンを含む）製造業	384	150	乳酸菌飲料製造業	0	0
乳処理業	1	1	食用油脂製造業	2	1
特別牛乳さく取処理業	0	0	マーガリン又はショートニング製造業	0	0
乳製品製造業	5	5	みそ製造業	12	3
集乳業	0	0	醤油製造業	8	2
魚介類販売業	384	159	ソース類製造業	1	0
魚介類せり売り営業	2	0	酒類製造業	6	2
魚肉ねり製品製造業	6	2	豆腐製造業	14	6
食品の冷凍又は冷蔵業	33	20	納豆製造業	1	1
かん詰又はビン詰食品製造業	6	3	めん類製造業	19	5
喫茶店営業	633	88	惣菜製造業	54	36
あん類製造業	6	8	添加物製造業	2	0
アイスクリーム類製造業	79	31	食品の放射線照射業	0	0
乳類販売業	457	164	清涼飲料水製造業	6	6
食肉処理業	37	28	冰雪製造業	5	1
食肉販売業	327	164	冰雪販売業	4	0
計				5,138	1,663

(注) 同一施設へ年度内に複数回監視を実施することがあるため、監視数が施設数を上回る場合があります。

(2) 許可を要しない食品関係営業施設数及び監視数 (平成 29 年度)

施設	施設数	監視数	
集団給食施設	学 校	71	27
	病院・診療所	29	18
	事 業 所	31	1
	そ の 他	170	44
乳 さ く 取 業 (牛乳)	14	0	
食 品 製 造 業	249	12	
食 品 販 売 業	178	378	
計	742	480	

(3) 食品等の収去検査結果 (平成 29 年度)

種 類	検 体 数	不 適 検 体 数	不 適 理 由	
			細 菌	理 化 学
魚 介 類	13	1	1	0
冷 凍 食 品	0	0	0	0
魚 介 類 加 工 品 (かん詰・びん詰を除く)	10	0	0	0
肉 卵 類 及 び そ の 加 工 品 (かん詰・びん詰を除く)	12	0	0	0
乳 製 品	2	0	0	0
乳 類 加 工 品 (アイスクリーム類を除き、マーガリンを含む)	0	0	0	0
アイスクリーム類・氷菓	0	0	0	0
穀 類 及 び そ の 加 工 品 (かん詰・びん詰を除く)	27	2	1	1
野 菜 類 ・ 果 物 及 び そ の 加 工 品 (かん詰・びん詰を除く)	11	0	0	0
菓 子 類	26	1	1	0
清 涼 飲 料 水	0	0	0	0
酒 精 飲 料	0	0	0	0
氷 雪	0	0	0	0
水	0	0	0	0
かん詰・びん詰食品	3	0	0	0
その他の食品 (弁当、総菜等)	126	3	3	0
添加物及びその製剤	0	0	0	0
器具及び容器包装	3	0	0	0
おもちゃ	0	0	0	0
計	233	7	6	1

※三重県衛生管理指標に基づく不適合です。(指導後、適合を確認済み)

(4) 食中毒発生件数 0件

(5) 食中毒発生防止対策として、各種講習会の開催

(平成29年度)

区 別	回数	人数(人)
営業者を対象とする講習会	38	1,305
小学生を対象とする講習会	0	0
一般県民を対象とする講習会	0	0
その他(食生活改善推進員養成講座等)	16	1,102
計(延べ実施回数)	54	2,407

(6) 消費者対策事業

食品衛生月間啓発事業

日 時：平成29年8月1日(火) 13時30分～15時00分

場 所：イオン久居店

実施内容：食中毒予防関連のパンフレットの配布、啓発資材(ウェットティッシュ、団扇、ポケットティッシュ)、ブラックライトを使用した手洗い実験教室、食品衛生相談窓口の設置

参加者：約1,000人

共催団体：津食品衛生協会(食品衛生指導員 10人 事務局 2人)

(7) 食品苦情対応

(平成 29 年度)

食品苦情件数	有症苦情	受付件数		33
		対応	施設が管内にあり立入検査を実施(a)	18
			施設が管外(b) (施設を所管する保健所へ調査依頼)	4
		調査を要しなかったもの(c) * 1		8
	食品苦情	受付件数		62
		対応	施設が管内で立入検査を実施(d)	36
			施設が管外(e) (施設を所管する保健所へ調査依頼)	8
		調査を要しなかったもの(f) * 1		18
	計	施設への立入検査件数 (a+d)		54
		施設が管外(b+e)		12
調査を要しなかったもの(c+f) * 1		26		
計		92		
食中毒関係	食中毒調査による立入検査		13	
	他保健所から食中毒・有症苦情の調査依頼を受けた件数 * 2		8	
	計		21	
処分等	口頭での指導		8	
	指示書の交付		0	
	報告書等の提出		25	
	行政処分	営業許可取消命令書		0
		営業禁止命令書		0
		営業停止命令書		0
		営業施設改善命令書		0
		廃棄命令書		0
		使用・販売・移動禁止命令書		0
		回収命令書		0
		始末書		0
小計		0		
計		33		

※1 内容が特定できない等で調査できなかったもの、誤認等によるもので受付時の説明で完了したものなどです。

※2 他保健所(県外含む)からの依頼は、有症苦情か食中毒で処理されたか不明な場合もあることからこの欄に数値を計上しました。

(8) 販売・流通段階における食品表示の監視指導

食品表示法に基づく収去食品の表示確認実績
(平成 29 年度)

	検体数
適正	31
不適	0
合計	31

監視実施店舗数
(平成 29 年度)

	店舗数
適正表示店舗	124
不適有り店舗	10
合計	134

収去食品表示不適件数 (平成 29 年度)

表示責任者	不適食品分類	名称	原産地	原材料名	原料原産地名	内容量	期限表示	保存方法	製造者	アレルギー	その他
製造者	惣菜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	水産物加工品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豆腐	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
加工者	惣菜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表示監視不適件数

(平成 29 年度)

表示責任者	不適正表示検体	調査結果 (表示欠落事項)										表示不適正店舗数
		名称	原産地	原材料名	原料原産地名	内容量	期限表示	保存方法	製造者	アレルギー	その他	
百貨店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合スーパー	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
食料品スーパー	14	3	4	0	0	0	5	3	5	5	0	3
専門店(青果)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門店(食肉)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門店(鮮魚)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門店(その他)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	74	13	3	25	20	10	22	9	27	7	22	6
合計	89	16	7	26	20	10	27	12	32	12	22	10

(9) 食品表示の相談

表示相談件数

(平成 29 年度)

総相談件数(件数)		65
内訳	食品表示法(品質事項)	34
	食品表示法(衛生事項)	34
	食品表示法(保健事項)	18
	他法令	29

(10) 自主衛生管理の推進

食品関係施設の自主管理推進のために、「三重県食品の自主衛生管理認定制度」を進めています。

(平成29年度)

新規申請件数	0件
--------	----

(11) 調理師及び製菓衛生師免許取得状況

(平成29年度)

区 分	申込者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
調理師試験	70	63	45	71.4%
製菓衛生師試験	181	169	125	74.0%

(平成29年度)

調理師免許証申請状況 (件数)		製菓衛生師免許証申請状況 (件数)	
免許申請	70	免許申請	21
名簿訂正・書換交付申請	17	名簿訂正・書換交付申請	1
再交付申請	18	再交付申請	1
名簿登録消除・返納申請	0	名簿登録消除・返納申請	0

施策 : 146 感染症の予防と拡大防止対策の推進
 基本事業 : 14601 感染症予防のための普及啓発の推進

主な取組内容

・感染症予防に向けた啓発や発生に関する情報提供を行うことで、県民一人ひとりが感染症に対する正しい理解を深め、感染症の拡大防止につなげます。

1 感染症の予防事業

感染症発生時において、患者調査と家族、接触者健診の実施および感染拡大防止のための措置を講じました。

(1) 病原体検査実施状況

(平成 29 年度)

	四類				五類全数				五類定点					そ の 他	計
	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	Q熱	ウイルス性肝炎	急性脳炎	風しん	麻疹	インフルエンザ	手足口病	突発性発疹	流行性耳下腺炎	無菌性髄膜炎		
4月	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	4
5月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
6月	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
7月	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	4
8月	-	-	-	1	-	1	-	-	-	3	-	-	1	1	7
9月	1	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	4
10月	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	2
11月	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
12月	-	-	-	-	-	1	1	-	2	1	-	-	1	-	6
1月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
2月	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	3
3月	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	1	-	5
計	1	1	1	2	2	3	1	4	5	13	1	1	4	2	41

(2) 行政検査実施状況

(平成 29 年度)

	三類			四類	五類定点		その他	計
	細菌性赤痢	コレラ	腸管出血性大腸菌感染症	レジオネラ	インフルエンザ	感染性胃腸炎		
4月	-	-	-	-	-	-	-	0
5月	-	-	-	-	-	-	-	0
6月	-	-	3	-	-	-	-	3
7月	-	-	2	-	-	-	-	2
8月	-	-	86	-	-	-	5	91
9月	-	-	21	-	-	-	-	21
10月	-	-	-	-	-	-	-	0
11月	-	-	-	-	-	-	-	0
12月	-	-	4	-	3	-	-	7
1月	-	-	-	16	-	-	-	16
2月	-	-	-	-	-	-	-	0
3月	-	-	-	-	-	-	-	0
計	0	0	116	16	3	0	5	140

(3) 感染症発生届受理状況 (結核を除く)

(平成 29 年度)

	三類		四類	五類全数											計						
	大腸菌感染症	腸管出血性レジオネラ症	レプトスピラ症	腸内細菌科細菌症	カルバペネム耐性	急性脳炎	ト・ヤコブ病	クロイツフェル	劇症型溶血性	レンサ球菌感染症	症候群	後天性免疫不全	感染症	侵襲性髄膜炎菌		感染症	侵襲性肺炎球菌	水痘 (大院例)	梅毒	破傷風	百日咳
4月	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	4
5月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
6月	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
7月	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	4
8月	6	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	9
9月	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	6
10月	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	7
11月	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
12月	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	6
1月	-	1	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	7
2月	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
3月	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	1	-	-	-	4
計	12	6	1	4	3	1	3	2	1	5	1	13	1	2	55						

(4) 感染症検病調査実施状況

(平成 29 年度)

	三類			四類		五類全数		五類定点		その他	計
	細菌性赤痢	コレラ	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	レジオネラ	麻疹	風疹	インフルエンザ	感染性胃腸炎		
4月	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
5月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
6月	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	4
7月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
8月	-	-	4	-	-	-	-	-	1	1	6
9月	-	-	3	-	-	1	-	-	-	-	4
10月	-	-	-	-	2	1	-	-	-	1	4
11月	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	3
12月	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2
1月	-	-	-	-	1	-	-	7	-	-	8
2月	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	9
3月	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	3
計	0	0	9	0	5	4	0	20	3	5	46

(5) 健康教育

(平成 29 年度)

対象内訳	開催回数 (回)	参加人数 (人)
事業所関係	1	100
学校関係	1	81
計	2	181

施策	: 146 感染症の予防と拡大防止対策の推進
基本事業	: 14602 感染症危機管理体制の整備

主な取組内容

・ 新型インフルエンザや中東呼吸器症候群（MERS）など発生すると社会的影響の大きい感染症に備え、各関係機関と連携した訓練等を行い防疫体制の強化を図ります。

・ 感染症等の重大な健康危機事例発生時に健康被害を最小に抑えるため、平常時から各関係機関との連携体制を確保するために、危機管理ネットワーク会議を開催します。

1 感染症の拡大防止対策の推進

新型インフルエンザやエボラ出血熱の発生時における対応を確認し、各関係機関それぞれの役割に関する認識を深め、連携体制の強化を図るために、訓練及び会議を開催しました。

(1) 訓練

訓練名：平成29年度津保健所新型インフルエンザ等対策訓練

開催日時：平成29年12月8日（金）

訓練参加：津地域感染症等危機管理ネットワーク会議関係機関

訓練参加者 22人 見学者 13人

内容：実働訓練

意見交換会

訓練名：一類感染症（エボラ出血熱）患者移送等訓練

参加日時：平成30年2月2日（金）

訓練参加：伊勢赤十字病院、三重県警、伊勢警察署、四日市市保健所、保健環境研究所、三重県健康福祉部等

内容：実働訓練、意見交換会等

(2) 会議

会議名：平成29年度津地域感染症等危機管理ネットワーク会議

開催日時：平成29年9月7日（木）

会議参加：津地区医師会、久居一志地区医師会、津薬剤師会

三重中央医療センター、三重病院、遠山病院、津生協病院

津市消防本部、津市危機管理部、津市健康福祉部

津保健所 全16人

内容：感染症発生状況、集団発生事例、等

施 策	: 146 感染症の予防と拡大防止対策の推進
基本事業	: 14603 感染症対策のための相談・検査の推進

主な取組内容

・結核やエイズ等に関する相談・検査を推進し、これらの感染症のまん延を防止します。

1 結核対策

全国的な結核患者数は、緩やかに減少傾向にありますが、結核は依然として我が国最大の慢性感染症であります。まん延防止のために、排菌患者及び基礎疾患を有する高齢者への対応を徹底するとともに、DOTSの推進に努めています。また、接触者やハイリスクグループ・デインジャーグループへの確実な健診の実施並びに潜在性結核感染症患者の発症予防対策に努めています。

(1) 定期健康診断実施状況

(平成29年度)

区 分	B C G	間接撮影	直接撮影	喀痰検査	発病のおそれ	結核患者
学校の長	0	1,800	5,111	1	0	0
事業所	0	4,049	13,609	3	0	1
一般住民	2,007	0	25,650	0	0	0
施設の長	0	1,075	1,209	5	0	0
計	2,007	6,924	45,579	9	0	1

(2) 定期外健康診断実施状況

ア 接触者健診実施状況

結核感染のおそれのある業務に従事する者および集団感染のおそれのある区域の者に対し、受診を勧奨して健康管理に努め、また結核患者家族に対し健康診断を実施し、感染防止に努めています。

(平成29年度)

区分	受診者数	ツ反	Q F T	直接	結果	
					患者	発病のおそれのある者
家族	112	1	94	17	1	1
接触者	232	0	211	21	1	4
計	344	1	305	38	2	5

(単位：人)

イ 管理検診実施状況

治療終了後、1年、2年の患者及び医療終了・医療中止等の結核患者に対して検診を実施し、病状の確認と今後の医療の要否について指導しています。

(平成29年度)

種 別	受 診 者 数 (人)	医療機関紹介数 (件)
管 理 検 診	15	0

(3) 患者登録状況

結核患者及びその家族等に対する受診勧奨その他の指導、感染防止の措置等結核対策を実施する上での基礎としています。

ア 年齢別登録患者数

(平成29年12月末現在)

年齢階級	総 数	活動性結核					肺外結核 活 動 性	不活動性 結 核	不 明
		肺結核活動性 (登録時)							
		肺結核活 動性計	内 訳			肺外結核 活 動 性			
			喀痰塗抹 陽 性	その他の 結核菌陽性	菌陰性・ その他				
0～4	0	0	0	0	0	0	0	0	
5～9	0	0	0	0	0	0	0	0	
10～14	0	0	0	0	0	0	0	0	
15～19	0	0	0	0	0	0	0	0	
20～29	9	5	2	2	1	1	3	0	
30～39	6	1	0	1	0	0	3	2	
40～49	6	1	1	0	0	0	4	1	
50～59	5	2	1	1	0	0	2	1	
60～69	7	3	1	2	0	0	3	1	
70～	33	10	4	5	1	3	18	2	
計	66	22	9	11	2	4	33	7	

イ 結核新登録患者数 (人)

三重県の結核統計より

区 分	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
津保健所	72(19)	61(23)	49(12)	59(15)	48(14)	35(16)	47(8)
三 重 県	370(90)	324(72)	305(66)	359(122)	296(52)	300(59)	262(49)

※ () 内は潜在性結核感染症の再掲人数です。

※平成29年は暫定値

ウ 結核罹患率《人口10万対》

三重県の結核統計より

区分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
津保健所	18.6	13.4	13.1	15.7	12.1	6.8	14.0
三重県	15.2	13.7	13.1	13.0	13.4	13.3	11.8

※平成29年は暫定値

(4) 結核患者・家族指導

結核患者と家族、接触者に対し療養や健診についての指導を行っています。

(平成29年度)

家庭訪問	228件
所内面接	18件
電話相談	230件
計	476件

(5) 保健師の訪問等による地域DOTS実施状況

訪問DOTS	137件
郵送DOTS	91件
薬局DOTS	0件
その他(来所DOTS・施設DOTS)	15件
計	243件

(6) DOTSカンファレンス実施状況

実施回数：10回

対象者数（津保健所）：17人

場 所：三重中央医療センター

(7) コホート検討会

開催日：平成30年2月15日

対象者数：8名

参加者数：医師、看護師、薬剤師、検査技師、MSW、行政 計17名

場 所：三重中央医療センター

(8) 啓発

個別の登録者の利用する施設や所属する会社、学校の職員へ結核やDOTSについての情報提供を行っています。

対象内訳	開催回数	該当登録者
事業所等	15か所	18人

2 エイズ相談及び検査実施状況

エイズに関する正しい知識の普及啓発を図るとともに、相談及び抗体検査を実施しています。

(1) エイズ相談

項目	男	女	計
電話相談	10	4	14
来所相談	10(1)	11(3)	21(4)

※ () は夜間実施分の再掲です。

(単位：人)

(2) HIV抗体検査

男	女	計
304(196)	129(63)	433(259)

※ () は夜間実施分の再掲です。

(単位：人)

3 特定感染症（梅毒等）検査

特定感染症予防指針に基づき、検査依頼者の中で希望するものに対して梅毒・ウイルス性肝炎の検査を実施し、これら感染症の予防の推進を図ります。

区分	男	女	計
梅毒検査	180(82)	96(36)	276(118)
B型肝炎	183(85)	93(34)	276(119)
C型肝炎	183(85)	92(34)	275(119)

※ () は夜間実施分の再掲です。

(単位：人)

4 普及・啓発

臨時即日検査や街頭啓発を実施するとともに、エイズに関する正しい知識普及を図り、保健所が行う検査・相談の利用を促すため、パネル展示やポスター掲示、啓発用パンフレット及びポケットティッシュ等を配布しています。

(1) HIV検査普及週間

臨時即日検査

平成29年6月6日（火）

普及啓発コーナーの設置

平成29年6月1日（木）～6月7日（水） 津保健所棟ロビー

(2) 世界エイズデー

街頭啓発

日 時：平成29年12月1日（金）7：45～9：00

場 所：津駅

対象者：通学、通勤者 約1,500人

臨時即日検査

日 時：平成29年12月5日（火）

普及啓発コーナーの設置

日 時：平成29年11月27日（月）～12月8日（金）

場 所：津保健所棟ロビー

II 政策展開の基本方向「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～

政策 3 希望がかなう少子化対策の推進

施 策	: 232 結婚・妊娠・出産の支援
基本事業	: 23202 不妊に悩む家族への支援 23203 切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実

<p>主な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定不妊治療等に対する経済的支援や相談体制の充実に取り組みます。 ・各市町が、妊娠・出産・育児における「地域の強みを生かした切れ目のない母子保健体制」を整備できるように人材育成、関係機関調整等、体制整備の支援を行います。

1 不妊に悩む家族への支援 特定不妊治療費助成用申請状況

(平成29年度)

申 請 数	354 (内管外1)
承 認 数	354 (内管外1)

2 切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実

(1) 健やか親子支援事業

① ママ元気ネットワーク会議の開催

産婦人科医や助産師との連携を深めることを目的に津市と共催事業として平成20年度から実施しています。

日 時	開催場 所	参 加 者	内 容
平成 29 年 6 月 29 日 (木) 18:30~20:00	津 市 中 央 保 健 セ ン タ ー	産婦人科医師 助産師 市保健師 県保健師 計 18 人	・津市第 3 次健康づくり計画 について ・産後ケア事業について ・利用者支援事業について ・情報交換
平成 30 年 2 月 1 日 (木) 18:30~20:00	津 市 中 央 保 健 セ ン タ ー	産婦人科医師 助産師 市保健師 県保健師 計 14 人	・妊娠届出時アンケートにつ いて ・津市産後ケア事業について ・情報交換

② 心身の発達に課題を抱える子どものフォローアップ

医療機関から連絡のあった小児慢性特定疾患や、養育問題をもつ保護者への支援として訪問、による療養や育児に対しての支援を行いました。

家庭訪問件数

(平成29年度)

区 分	未 熟 児	小児慢性特定疾病児
訪問実件数	0	7
訪問延件数	0	8

③ 思春期健康支援事業

思春期は、人間の一生において心身面の発達の変化の最も大きい時期です。この時期は、特有の身体や心に関する悩みなども多くみられ、それに対する対応が将来の結婚生活や健康に大きな影響を与えることから、電話相談を受け、助言を行いました。

④ 妊産婦メンタルヘルス対策

産後は、こころの病気の発生率が高く、とりわけ、産後うつ病は、妊産婦の10%以上が罹患すると言われていています。産後のこころの病気の早期発見・早期治療・早期支援を行うことで、妊産婦のメンタルヘルスの向上を図り、安心して子どもを産み育てる環境を整えることは、児童虐待防止の観点からも重要なことです。

産婦人科の協力を得て、出産直後（産褥入院中）の産婦に対しエジンバラ産後うつ自己評価票（以下「EPDS」）を用いてスクリーニングを行い、高得点者（15点以上）及びその他ハイリスク者（若年出産、精神疾患、経済子困窮等）について、産婦人科等関係機関と連携し支援を行いました。

(平成29年度)

種 別	EPDS高値	その他要因
紹介事例数	0件	3件

(2) 小児慢性特定疾病対策事業

① 医療給付状況

(平成29年度)

区 分	小児慢性特定疾患
申請件数	328
給付決定件数	317
否決件数	10
保留	1

② 小児慢性特定疾患医療給付件数

(平成29年度)

疾病名	件数
悪性新生物	45
慢性腎疾患	16
慢性呼吸器疾患	23
慢性心疾患	51
内分泌疾患	79
膠原病	4
糖尿病	18
先天性代謝異常	8
血液疾患	10
免疫疾患	1
神経・筋疾患	42
慢性消化器疾患	14
染色体または遺伝子 に変化を伴う症候群	4
皮膚疾患	2
計	317

第3編 検査事業実績

施策	:	145 食の安全・安心の確保
施策	:	146 感染症の予防と体制の整備
基本事業	:	検査業務

主な取組内容

- ・感染症に関する検査を行っています。
- ・食品の微生物学的検査を行っています。
- ・特定感染症に関する検査を行っています。
- ・結核感染に関する検査を行っています。
- ・食中毒・有症苦情、苦情食品に関する検査を行っています。
- ・ノロウイルス等ウイルスに関する検査を行っています。
- ・簡易キットによる毒劇物検査を行っています。
- ・分子疫学解析に取り組んでいます。

1 感染症発生時及び防疫検査

(1) 細菌検査

(平成29年度)

検査項目	便		菌 株		ふき取り		水		喀 痰	
	件数	陽性数	件数	陽性数	件数	陽性数	件数	陽性数	件数	陽性数
赤 痢 菌	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0
チ フ ス 菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パラチフス菌	6	0	1	1	0	0	0	0	0	0
コ レ ラ 菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腸管出血性大腸菌	200	13	5	4	0	0	0	0	0	0
レジオネラ属菌	0	0	0	0	26	4	20	6	2	2
計	210	16	7	5	26	4	20	6	2	2

(2) ウイルス検査

(平成29年度)

検査項目	便		吐物	
	件数	陽性数	件数	陽性数
ノロウイルス	25	19	0	0
ロタウイルス	19	0	0	0
アデノウイルス	22	0	0	0
サポウイルス	3	0	0	0
計	69	19	0	0

(3) ノロウイルス遺伝子型別

(平成29年度)

検査項目	検査件数	陽性数	内訳		
			G I	G II	G I + G II
ノロウイルス	25	19	16	3	0

(4) IS-Printing を用いた遺伝子解析検査

(平成29年度)

検査項目	件数
腸管出血性大腸菌 0157疫学解析	28
計	28

(5) 結核検査 (Quanti FERON TB - GOLD を用いた結核菌感染マーカー検査)

(平成29年度)

検査項目	件数	判定保留	陽性数	判定不可
QuantiFERON TB-GOLD	1,048	54	79	2

2 食品衛生検査

規格基準検査（生食用かき、魚肉練り製品、食肉製品等）

食品の衛生管理指標（惣菜、調理御飯、生菓子、調理パン、豆腐等）

野生獣を介する動物由来感染症等対策事業に基づく拭き取り及び枝肉の検査

(1) 食品収去検査

(平成29年度)

検査項目	件 数	
	検 査	不 適
細 菌 数	968	26
大 腸 菌 群	187	15
大 腸 菌	827	16
黄色ブドウ球菌	811	2
サルモネラ属菌	749	0
腸炎ビブリオ	125	0
そ の 他	0	0
計	3,667	59

(2) その他（拭き取り、保存食等）

(平成29年度)

検査項目	件 数		
	拭き取り	保 存 食	食品収去以外
細 菌 数	187	168	1
大 腸 菌 群	179	0	1
大 腸 菌	149	168	0
黄色ブドウ球菌	184	169	0
サルモネラ属菌	184	168	0
腸炎ビブリオ	22	2	0
そ の 他	0	0	0
計	905	675	2

(3) 野生獣を介する動物由来感染症等対策事業に基づく拭き取り及び枝肉の検査
 (147 獣害対策の推進 14704 獣肉等利活用の促進)
 (平成29年度)

検査項目		件数
拭き取り	一般細菌数	10
	大腸菌群数	10
枝肉	腸管出血性大腸菌	9
	サルモネラ属菌	9
	カンピロバクター属菌	9
計		47

3 食中毒及び有症苦情発生時の微生物検査・毒劇物迅速検査

(1) 微生物検査

(平成29年度)

検査項目	検査数	内 訳				
		便	食品	拭き取り	吐物	その他
病原大腸菌	440	193	20	224	3	0
赤痢菌	439	192	20	224	3	0
黄色ブドウ球菌	462	200	35	224	3	0
サルモネラ属菌	463	200	35	224	3	1
ビブリオ属菌	439	192	20	224	3	0
セレウス菌	439	192	20	224	3	0
ウエルシュ菌	439	192	20	224	3	0
カビ ^o バク ^o ー ^o ジ ^o エ ^o /コ ^o	457	201	18	235	3	0
エルシニア エンテロコリチカ	439	192	20	224	3	0
ノロウイルス	417	207	27	180	3	0
ロタウイルス	24	24	-	-	-	-
アデノウイルス	14	14	-	-	-	-
サポウイルス	4	4	0	0	0	0
腸管出血性大腸菌	24	0	19	5	0	0
一般細菌数	1	0	1	0	0	0
大腸菌群	1	0	1	0	0	0
真菌類	1	-	1	-	-	-
クドア	0	-	0	-	-	-
ザルコ	0	-	0	-	-	-
計	4,503	2,003	257	2,212	30	1

(2) 毒劇物迅速検査

(平成29年度)

検査項目	件数	陽性数
ヒ素化合物	0	0
青酸化合物	0	0
亜硝酸塩	0	0
硝酸塩	0	0
コリンエステラーゼ阻害剤	0	0
計	0	0

(3) ウイルス検査

(平成29年度)

検査項目	便		吐物		食品		拭き取り		その他	
	件数	陽性数	件数	陽性数	件数	陽性数	件数	陽性数	件数	陽性数
ノロウイルス	207	74	3	1	27	0	180	1	0	0
ロタウイルス	24	0	-	-	-	-	-	-	-	-
アデノウイルス	14	0	-	-	-	-	-	-	-	-
サポウイルス	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	249	74	3	1	27	0	180	1	0	0

(4) ノロウイルス遺伝子型別

(平成29年度)

	検査件数	陽性数	内訳		
			G I	G II	G I & G II
ノロウイルス	417	76	23	50	3

4 特定感染症検査

H I V検査、H C V抗体検査、H B s抗原検査、梅毒血清反応検査

(平成29年度)

検査材料	検査項目		件数
血清	梅毒	S T S	896
		T P H A	896
		確認検査 (F T A - A B S)	19
	エイズ	H I V抗原/抗体	1,068
		確認検査 (W B)	0
	肝炎	H C V抗体	919
		H B s抗原	919
計			4,717

※ 表紙の写真の説明

津市御殿場海岸 ミヤコドリ

大型のシギやチドリの仲間で体は白と黒、クチバシと足は長くて赤いのが特徴です。冬鳥として津の海岸に渡来し、多くの野鳥ファンが観察にきています。



← 津市榊原町 湯の瀬多目的広場

4月上旬に桜が満開を迎え、毎年、桜まつりが開催されます。

津市一身田町 高田本山専修寺 →

国宝の寺の境内では、初夏～夏にかけて様々な種類の蓮の花を楽しむことができます。



平成30年 津保健所年報（平成29年度版）

平成30年9月発行

三重県津保健所

〒514-8567 津市桜橋3-446-34（津庁舎5階）



総務企画課 Tel : 059-223-5290 Fax : 059-223-5119

健康増進課 Tel : 059-223-5184 Fax : 059-223-5119

地域保健課 Tel : 059-223-5094 Fax : 059-223-5119

衛生指導課 Tel : 059-223-5112 Fax : 059-223-5119

微生物検査課 Tel : 059-223-5116 Fax : 059-224-6255

e-mail : thoken@pref.mie.jp

URL : <http://www.pref.mie.lg.jp/THOKEN/HP/index.htm>